

サークルクラッシュ同好会会誌

コンテンツ：

●サークルクラッシュ

■集団に関する論文・コラム集

●サークルクラッシュの手引き

by サークルクラッシュ同好会会長 ホリイ・セン・・・・・・1~14

■コミュニティスペースの衝撃

by 京都アカデミックスペース『学森舎』主宰 植田元気・・・・・・15~23

●京大にある変なサークル「サークルクラッシュ同好会」とは何か？

～森見登美彦の著書を参考に～

by ホリイ・セン・・・・・・24

●サークル内恋愛という共同幻想 マルクス主義フロイト理解からの接近

by ひでシス・・・・・・25~28

●Aさんの人狼クラッシュインタビュー

by ホリイ・セン、Aさん・・・・・・29~42

■オルタナティブスペース独白記

by Factory Kyoto 松山孝法・・・・・・43~45

●漫画で学ぶサークルクラッシュ

by ホリイ・セン・・・・・・46~48

■拡大する思想空間としての宗教コミュニティ

by 幸福の科学学生支部 馬場光太郎・・・・・・49~52

サークルクラッシュの手引き

サークルクラッシュ同好会会長 ホリィ・セン

皆さんはサークルクラッシュという言葉をご存知だろうか？ ご存知ない方はその言葉にどのようなイメージを抱くだろうか？

2012年4月にサークルクラッシュ同好会を立ち上げてから半年が経過したが、まだまだサークルクラッシュという現象に対する認知度は低いように思う。

そこで、まず、サークルクラッシュという現象を説明、定義し、どこまでの内容を射程するのかを考えていきたい。

((以下はサークルクラッシュという現象についての仮説をまとめたものである。これからは実例やインタビュー、フィールドワーク等を通じてこれらの仮説を検証しようと思う。))

-1.よくある誤解

まず、そもそも一般的な意味でのサークルクラッシュは、「気に入らないサークルを破壊する行為」**ではない**。また、「人や物に対する物理的な破壊行為」**でもない**。(それはただの犯罪だ)

「クラッシュ」という言葉からそのようなイメージを想起されるのは分からないでもないが、まずこの誤解はやめていただきたいし、どんなサークルでもクラッシュできるわけではない。「テニサーが気に入らないからクラッシュしてほしい」というのをどこかで目にしたことがあるが、**一般的なテニサーにおいては「サークルクラッシュ」は起こらない**。その理由は、以下の文章を読み進めていけばおのずと明らかになるだろう。

また、サークルクラッシュという言葉のイメージから起こる問題点はもう1つあるが、それは4.3.ジェンダーの項を参照されたい。

補足：恋愛以外のサークルクラッシュについて

定義をどこまで広げるかという問題にもなるが、人間関係に問題さえ生じれば恋愛でなくてもクラッシュし得る。また、新しい人間が入ってこないことによるサークルの自然消滅も考えられる。

0.一般的な定義

男性の割合の多い文化系サークルやそれに似た性質を持つ職場に少数の女性が参加し

た後で、その女性をめぐる恋愛問題によって急にサークル内の人間関係が悪化し結果的にサークルが崩壊する現象。(はてなキーワードより)

1.サークルクラッシュを研究する目的

サークルクラッシュという概念はまだ一般的ではない。当同好会の研究によって、その認知度を高め、サークルクラッシュの**予防**または**推進**を人々に呼びかけることが目的である。

・予防について

サークルクラッシュという現象を知らなければ、未然に防げたかもしれないのにクラッシュしてしまいかねない。実際にクラッシュ、すなわち人間関係が壊れてしまえば、本当に嫌な思いをする。

サークルクラッシュという現象を知っていれば、クラッシュを防げる。すなわち、より良い人間関係を保ち続けることができる。これが一つの目的だ。

・推進について

後述する「故意クラッシャー」にとってのメリットとなる。故意にサークルクラッシュをする側の人間にとっては、サークルクラッシュの過程は、**承認欲求を得る過程**である。簡単に言えば、**チャホヤされたい**という人にサークルクラッシュという手段を提供する。これがもう一つの目的だ。¹

これらに限らず、サークルクラッシュ研究の最終的な目的は、**より良いコミュニケーション・コミュニティとは何か**を考えるということである。

これが達成されれば↓

- ①1人の人間にとっては、様々な欲求²を満たすことができる。
- ②1つのコミュニティにとっては、コミュニティの運営がスムーズになる。
- ③コミュニティの集合体である社会全体にとっては、それぞれのコミュニティが円滑に機能し、広い意味での生産性が向上する。

①について補うならば、「サークルクラッシュ」の第一人者とも言える、宇野常寛氏(1978～、評論家)の議論を参考にした。³

それは以下のようなものである。

¹ 同人誌『奇刊クリルタイ』の編集長である republic1963氏(1963?～、フリーライター)はサークルクラッシャーからモテるための戦略が学べるのではないかと語っている。非モテのための婚活必勝法9:モテる技術はサークルに学べ(republic1963,2012)<http://blog.livedoor.jp/chikumaonline/archives/53414278.html>

² 様々な欲求:ここでは主に、所属・コミュニケーション・恋愛・承認といったものへの欲求を指している。これらは多くの人間が普遍的に持っている。

³ 善良な市民のサークルクラッシュ人間学(宇野常寛,2007)

<http://web.archive.org/web/20090604110312/http://www.geocities.jp/wakusei2nd/cc00.html>

- i) 「コミュニケーション」において、「コストとベネフィット」という概念を持ち込むことが必要。
- ii) コストがベネフィットを上回る「赤字」状態をなくすことが、ストレスのない生活につながる。
- iii) 「コミュニケーションが黒字」であったとしても、あまりにも「低コスト・低ベネフィット」のスタイルを採用して得られるベネフィットが極端に少ない場合、人間は耐えられない。

2.サークルクラッシュが起こるための条件（促進要因と阻害要因）

2.1.クラッシュされる側の男性の属性

- ・モテない（非モテ）
- ・恋愛経験がない（女性からのボディタッチや優しい行為を勘違いする）
- ・視野が狭く、冷静になれない
- ・それなりには異性に興味がある（ムツリスケベ？）
- ・男性的趣味である

2.2.女性クラッシャーの属性

故意クラッシャーと天然クラッシャーに場合分けされる。同様の分類は熊代亨氏(1975～,精神科医)も述べている。⁴ただし、複合的な属性を持ったクラッシャーもいるので、厳密に分類できない場合もある。⁵

2.2.0.共通の属性

複数の男性にとって恋愛対象になるだけ魅力的であること。特定のサークルにおいて好かれやすい容姿や性格を持っていてもよい。

2.2.1.故意クラッシャー（自己陶醉型、女郎蜘蛛などとも呼ばれる）

- ・半ば故意にクラッシュ(サークルよりも個人の恋愛を優先)
- ・自己本位的

⁴ 誰の執着がサークルをクラッシュさせるのか - シロクマの屑籠（熊代亨,2008）
http://d.hatena.ne.jp/p_shirokuma/20080415/p1

⁵ サークルクラッシャーの分類に関しては未だに議論の余地がある。例えば、Piro氏(webサイト「outsider reflex」管理人)は、女性自ら積極的に引っかかり回すタイプと、女性本人は特に意識していないのに周囲が勝手に暴走してクラッシュしていくタイプ。別の分類で、おとなしくて自己主張しないタイプと、スキンシップや思わせぶりな態度やらをするタイプ。この2つのベクトルの組み合わせ4パターン（おとなしい故意犯、積極的な故意犯、おとなしい天然、積極的な天然）があると考えている。サークルクラッシャーに引っかかることについて：どうしてサークルクラッシャーに引っかかってしまうのかについて(Piro,2006)
http://piro.sakura.ne.jp/latest/bloxsom/mote/2006-04-24_crash.htm

- ・ 出会い目的でサークルに入る者もいる
- ・ 恋愛に対して積極的（俗に言うビッチ？）
- ・ 承認欲求が強い（チャホヤされたい）
- ・ 恋愛に対するモラルがない（他方向への恋愛をする）

2.2.2.天然クラッシャー（ゴルゴ女などとも呼ばれる）

- ・ 無自覚にクラッシュ
- ・ 男性的趣味のため、男性社会に入っていくやすい
- ・ 好かれていることに対して鈍感
- ・ 性別の壁を作らずに男性とも自然に話す、ボディタッチする

2.3.サークル内の男女比

主に男性社会に対して女性のサークルクラッシャーが入ってくるモデルを想定しているので、女性が1人だけ入ってくる場合と、少数複数の場合と、多数複数の場合で分けて考える。

2.3.1.1人だけ

異性と触れ合う機会のない、視野の狭い男性達からすれば、唯一の女性である。男性達の住んでいる世界の中で、恋愛対象となる女性はその1人だけという状態になるのがポイントかもしれない。

2.3.2.少数複数

男性の中で「比較」が生じる。男性に対して壁を作る女性と、気さくに話しかけてくる女性がいれば、前者と比較して後者が際立って魅力的に見えるということもあるだろう。

2.3.3.多数複数

男性の視野が広がることと、サークルクラッシャーが女性の派閥から疎外されることから、サークルクラッシュは極めて起こりにくくなる。

結果的に女性が1人だけか、少数複数のどちらかがサークルクラッシュの起こりやすい男女比だろう。

2.4.サークルの傾向

2.4.1.人員構成

まず、上記の 2.1.と 2.2.で述べた属性を持った男性・女性が、2.3.で述べた適切な男女

比で入ることにより、「サークルクラッシュが起こりやすい人員構成」となる。その人員構成になりやすいサークルの傾向を述べる。

2.4.1.1.非主流のサブカルチャー系サークル（自然淘汰のメタファー）

いわゆる「主流」の文化・社会（スポーツなどが主な例）から淘汰されていくような人間は恋愛が苦手な場合やモラルがない場合が多い。

よって、非主流のサブカルチャー系のサークルでは、2.1.のような男性や、2.2.1.故意クラッシャーの女性が集まりやすい。

2.4.1.2.男性的趣味のサークル

主に男性社会に対して女性のサークルクラッシャーが入ってくるモデルを想定しているので、サークルは男性的趣味のものということになる。

必然的にサークルの内容や目的も男性的で、ホモソーシャルな集団であることが多い。

2.4.1.3.創作・表現系サークル

承認欲求の強い人間は他人の目に触れるような創作・表現系のサークルに入りやすい。

よって、2.2.1.故意クラッシャーの女性は集まりやすく、恋愛へと発展しやすい。

2.4.2.恋愛

恋愛経験のない男性達が突然恋愛をすることでサークルクラッシュが起こるとというのが一般的なモデルである。

恋愛が全く起こらないサークルではサークルクラッシュは起こらない。**2.4.1.のような人員構成になる条件を満たした上で、恋愛が起こりやすくなるサークルの傾向を述べる。**（さらに言えば、このような恋愛のしやすいサークルにこそ、2.2.1.のような故意クラッシャーは集まりやすい。恋愛の起こりやすさは人によってもサークルの構造によっても規定される）

2.4.2.1.コミュニケーションに価値を置くサークル

恋愛に発展するために、構成員同士のコミュニケーション・スキンシップが盛んである傾向も強い。

※ただし、男同士の仲が良すぎる場合は、恋愛よりも男同士の友情も考慮に入れ、サークルクラッシュの阻害要因になる場合もある。

2.4.2.2. 目的の薄いサークル

2.4.1.2. で述べたホモソーシャルということにも繋がるが、強い目的を持ったサークルでは恋愛はメインになりにくい。その逆で、明確な目的のないサークルならば、恋愛によってサークル本来の目的を見失い、サークルクラッシュに発展しやすいだろう。

2.4.2.3. モラル意識の薄いサークル

「サークル内恋愛禁止」に代表されるように、厳格なルールでサークルクラッシュの阻害要因と作っているサークルもある。そういうものがない方が恋愛は起こりやすいだろう。

2.4.3. 視野

知識と言い換えてもいいが、2.1. で述べたように、クラッシュされる側の男性が、サークルクラッシュを防げるだけの視野の広さや知識を持っていてはサークルクラッシュは起こらない。よって、構成員の視野が狭くなるようなサークルの傾向を述べる。

2.4.3.1. 歴史の浅いサークル

サークルクラッシュへの対処法は、サークル構成員の恋愛経験値の高いコミュニティでは「おばあちゃんの智恵袋」的な教養として受け継がれているという。⁶ 歴史のあるサークルであるということは、サークルクラッシュがこれまで起こらなかったか、どうか対処してきたことの証拠であろう。歴史の浅いサークルの方がそんな知恵はない可能性が高いだろう。

2.4.3.2. 非主流のサブカルチャー系サークル（内輪）

2.4.1.1. と重複するが、主流の文化・社会から淘汰された人間は特定の人としか付き合わない傾向が強い。結果的にサークルの内輪で固まるなどして、視野が狭くなり、サークルクラッシュに対処できない。

3. サークルクラッシュが起こる集団

3.0. サークルクラッシュ

大学サークルや、特定の趣味や研究をする集まり。同人誌などの創作をする「同人サークル」もこれに入る。サークルクラッシュの最も基本的な集団である。

3.1. 家族クラッシュ

近親相姦に対するタブーがあるために起こりにくい。ただし、外部との恋愛（親の浮気）によるクラッシュ（離婚）はよくある。

⁶ サークルクラッシャーとは - はてなキーワード

<http://d.hatena.ne.jp/keyword/%A5%B5%A1%BC%A5%AF%A5%A5%E9%A5%B7%A5>

3.2.バンドクラッシュ

人数が少ないために比較的クラッシュ率が高い。男 2 人女 1 人のバンドは筆頭クラッシュ候補であるが、それをサークルクラッシュに含めてもよいのかは議論の余地がある。

3.3.職場クラッシュ

気まずくても仕事はしなければならないかもしれない。人によっては辞めるだろう。

3.4.寮クラッシュ

2.4.2.3.でも述べたことだが、自治意識が高いと退寮を命じられるかもしれない。

3.5.ゼミクラッシュ

気まずくても研究は続けなければならない。人によっては辞めるだろう。

3.6.学部クラッシュ

人数が多いためにクラッシュとまではいかない場合が多いだろう。

3.7.ギルドクラッシュ

オンラインにおけるクラッシュ。オフ会を媒介する必要があるだろう。顔が見えないままでは、ネカマということもありうる。

3.8.SNS クラッシュ

ギルドクラッシュと同様だが、こちらの方がオフ会は一般的かもしれない。SNS 内で特定の小集団を作るケースが想像される。

3.9.ゲーセンクイーン

ゲームセンター。ジャンルによっては女性の数も多い。あくまで店なので、常連でなければ出会いの場としては活用しにくい。^{7 8}

4.サークルクラッシュを支える境界領域・メタ概念

4.1.恋愛

基本的なサークルクラッシュはここから始まる。論じるべき点はかなりあるだろうが、時間の都合上あまり調べることもできなかったのもので、ここではクラッシュされる側の 2.1.のような男性、すなわち「恋愛弱者」についてのみ述べようと思う。

小谷野敦氏(1962～,評論家)は『もてない男一恋愛論を超えて』(ちくま新書,1999)において、童貞や自慰の問題から、現代の「恋愛弱者」を問題視している。以下、「第一回

⁷ 熊代亨氏(先述)は 90 年代末の音楽ゲームのブームがゲーセンクイーンの成立に寄与したことを指摘している。「ゲーセンクイーン」の成立条件と生態 - シロクマの屑籠 (熊代亨,2009)

http://d.hatena.ne.jp/p_shirokuma/20090107/p1

⁸ raf00 氏(1978～,フリーライター)はゲーセンのコミュニティにおいて「ゲーセンノート」の重要性を指摘している。ゲーセンクイーンは古今どんなゲーセンにも発生しうる - この先、しばらく道なりです (raf00,2009)

<http://d.hatena.ne.jp/raf00/20090108/1231396888>

童貞であることの不安」より引用する。

“「筆下ろし」のプロが少なくなってしまった現代では、童貞喪失はなかなか困難になっているのである。たとえば「この女は俺に惚れ込んでいる」という自負があればともかく、素人にせよ玄人にせよ「何よ、勃たないの」とか何とか、男のプライドを傷つけるようなことを口にする女を相手にしては、童貞が勃つのはほとんど不可能に近い。(中略)逆に近代的な恋愛幻想のなかでは、娼婦相手だと「恋愛がない」ことが不安要因になって勃たないということもある。二律背反なのである。” (p23)

“六十年代以降、西洋から日本に伝わった「性の解放」は、コンドームの普及と相まって一定の男女に「自由なセックス」を与えたが、「いない歴」が年齢と同じであるような「もてない男女」にとっては、ひたすら拡大された不安感と孤独感を増幅させる効果をもたらしたに過ぎない。” (p33)

このように、現代の「童貞であることの不安」を述べている。また、「第二回 「おかず」は必要か？」のところでも、セックスをしていないことの問題を、自慰(オナニー)とセックスを対比して述べている。以下引用。

“かつて、と云っていいのだろうが、オナニーは体に悪い、あるいは精神衛生上よくない、という議論があった。(中略)オナニーを「恥じる」感覚というのは、本来相手があってすべきことを一人でしている、というところから来るのだろう。そして、それが病気を引き起こすと考えられる近代医学的な根拠を求めれば、セックスのできない欲求不満から、というふうと考えられる。とすると、オナニーが病気を引き起こすのではなく、セックスをしていないことが病気を引き起こすのだ。(中略)問題なのは、オナニーをすることではなくて、セックスの相手がないことの問題であるはずなのだ。それが、十八世紀以来最近に至るまで、オナニーすることの問題として捉えられてきたことになる。” (p60～62)

ここから、小谷野は、セックスの相手がないことの問題に対し、**セックスの相手がない以前に恋愛の相手がないこと**を問題視している。

まず小谷野は歴史的な背景を説明する。徳川期の遊里では「擬似的な」恋愛が行われていたことや、農村では若衆宿や娘宿のような制度で、十五、六歳で性の営みを覚えるのが普通であったことのような「性愛の制度」を挙げる。それに対し、近代では「女郎買いが罪悪だ」という考え方と、オナニーが罪悪だという考え方がいっぺんに入っ

てきてしまった” (p64)ことから、セックスの相手を見つけることのできない男が増えたという。それは身体的なセックスの問題ではなく、心身的な恋愛の問題だというのだ。以下引用。

“要するに、単なるセックスの道具としての女と交わるのは、下手なオナニーより虚しいのである。やはり人格的な交わりを経たのちに交合したいのである。これを私は「恋愛欲」と呼んでおり、性欲より先に恋愛欲がある、と考えている。(中略)食欲は満たされなければ死ぬが、性欲は満たされなくても死なない、と言われる。しかし死ななければいいというものではあるまい。セックスの相手がいないということが、一人の男、あるいは女の精神衛生に与えるダメージがどの程度のものか、これはあまり研究されていないように思える。(中略)セックスの相手がいない、というのは「心身問題」であって「身体問題」ではない。ただソープ嬢を買いまくって満足している男もいるのだろうということは認めねばならないとしても、やはり「恋人」とセックスしたい、という気持ちに悶々とする男というのはかなりいる訳で、じつはソープ嬢だって人間であるからには少しはそれらしいコミュニケーション能力がなければ楽しいセックスはできないのであって、ソープ嬢と楽しくセックスできる能力があれば恋人を作ることもできるのであり、問題なのはそれができない男なのである。(中略)アダルトビデオによるオナニーも、十年もやっていると飽きる。では、その先にあるのは何なのか。「性的弱者」という言葉が最近になって出てきた。どうやら社会学者の宮台真司が用いているらしいが、私も唱えていることになっている。つまり、恋人を作るためのの能力を持たず、セックスの相手のいない男のことらしい。(中略)しかし、じつは私が言っているのは「性的弱者論」ではなくて「恋愛弱者論」なのである。(中略)真のオナニーは、いずれ終わる。あとは惰性である。十代後半から二十代にかけての目くるめくようなオナニーは、青春の特権というほかない。人はいずれ「他者」を求めようになる。だが、他者を「恋愛」のような形で獲得する能力を持たないものをどうやって救済すればいいのか。” (p64～68,太字は引用者)

本田透氏(1969～,評論家)は、もてない男に対し、二次元への「デジタル恋愛」をオルタナティブとして提示している。しかし、2.1のような男がサークルクラッシュの原因となっているのが現状である。

4.2.メンヘラ

病気の人というよりかは、ここでは広義に、精神的に不安定な人を指す。

特徴の具体的な例を箇条書きする。

- ・精神的に不安定
- ・依存的
- ・ゴシック&ロリータの服
- ・コスプレイヤー
- ・チャホヤされたい(「姫」という形容がしっくりくる)
- ・恋愛に積極的(いわゆる「恋愛体質」)
- ・自傷癖(リストカットなど)
- ・不幸自慢したがる

etc...

2.2.1.故意クラッシャーはこの傾向が強いのではないか。

4.3.ジェンダー

性別に対して、固定的な属性が文化・社会的に与えられている。

サークルクラッシュに関わるステレオタイプを挙げると、

男性：個人主義的。見た目に無頓着な人が多い。

女性：グループ・派閥意識が強い。精神的に不安定。

このように、ジェンダーのステレオタイプが、男性社会に対して女性が入ってくるといふサークルクラッシュのイメージを作り上げている。

しかし原理的には、男性女性を反転しても、同性愛やどちらともつかない性の場合でもサークルクラッシュは起こりうる。

また、女性に対して「サークルクラッシャー」という呼称を用いることで、サークルクラッシュの責任を不当に女性に押し付けているのではないかという議論がある。⁹ 10 現在、宇野常寛氏(先述)がサークルクラッシュについて「小人論」という呼称を用い、従来のサークルクラッシャーに当たる女性を「白雪姫」と名付けているのはこのためだと推測される。

5.サークルクラッシュの歴史

サークルクラッシュの歴史的経緯について説明する。

5.1.古代

傾城の美女楊貴妃など、古代より悪女譚は多い。しかし、「サークルクラッシュ」に当

⁹ 「サークルクラッシャー」(hujikojp,2009)http://d.hatena.ne.jp/hujikojp/20091208/sakuru_kurassya

¹⁰ はてなキーワードの「サークルクラッシャー」の項目にある削除希望の理由にもなっている。

てはまるか当てはまらないと言われると難しく、厳密な考察を要するだろう。

5.2.近代

アナタハンの女王事件というものがある。概要は「1945年から50年にかけて、マリアナ群島・アナタハン島で、1人の女性と30人の男達が共同生活することになった。男達は女性をめぐる殺し合い、最終的には20人ほどしかいなくなった。」というものだ。¹¹

5.3.現代

SF(オタク第一世代)→ファンタジー・バンド(オタク第二世代)→ネット(オタク第三世代)という流れがあるようだ。詳しくは、はてなキーワードの「サークルクラッシャー」の項目を参照されたい。

ここでは、オタク第二世代におけるTRPG境界でのサークルクラッシャー(通称:粘着湯気女)について述べたい。

まず、『LOGOUT』という雑誌の中の記事、「粋なゲーマー養成講座」(朱鷺田祐介,1994年3月号~1995年12月号の連載)を出典に。第十一講までは書籍化されているので、そこからの情報に関してはページ数を記す。

TRPG境界は基本的に男性社会であり、元々男女の問題は後を絶たなかった。男性に関して言えば、サークルクラッシュの問題からはズレるので省略するが、部屋や身だしなみが汚いといった問題や、元々男性ばかりのTRPG境界に女性が参入しにくい問題などである。意図的に男女比を平均化して遊んでいるサークルもあるという。(p100)

まず、サークルクラッシュが起こる場だが、大学サークルなどもあったのだが、TRPGに特徴的なのはコンベンションである。コンベンションとは大会、集会といった意味で、一般に参加者を募るものである。サークルが公開例会という形で一般参加者も居るというケースもある。(p102)

コンベンションでは、様々なコンベンションをジプシーのようにさすらいながら、自分を「初心者の女の子」として珍重してくれる男たちの存在を楽しんでいる自称「初心者」がいることがある。そういった女性はサークルクラッシャーになりやすいようだ。(p33)

¹¹ アナタハンの女王事件 <http://yabusaka.moo.jp/anatahan.htm>

イラストレーターの金澤尚子は、初心者の女性が年下の男性たちと TRPG をやる際、自分が中心の女王様になるというのはどうかとアドバイスしている。(p54)

また、サークルが恋愛絡みのトラブルでなくなることが多いことを言っている。「一人の女の子を何人かで取り合い」「うまくいってるカップルをやっかむ、わり込む」といったことからトラブルが起こるといったものだ。金澤は、男女の問題は日頃からサークル内で話し合い、みんなで協力して良い方向にもっていくのを勧めている。(p44)

また、TRPG ではロールプレイングであるために、男性プレイヤーの演じる男性キャラクターと女性プレイヤーの演じる女性キャラクターがゲーム中に擬似恋愛関係になった場合、プレイヤー間でのトラブルになりやすい。(『LOGOUT』1995年10月号の第十九講より)

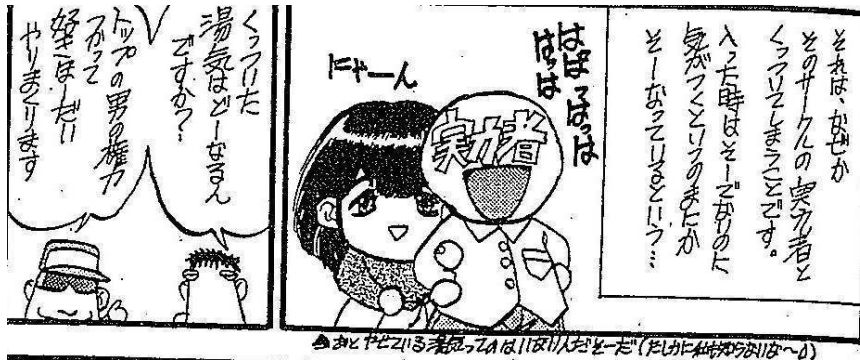
次に、粘着湯気女について語られたコンプ RPG の「TRPG わがまま言いほうだい」(Text 細江ひろみ・illustration 井上純弐,1994年8月号～1995年6月号)を出典に。男女問題を扱った内容が非常に多いが、「粘着湯気女」はこの中の井上純弐の漫画に記されている。

上記の金澤尚子が、同じサークルの男にいきなり電話をかける例を挙げている。



自分に彼氏がいても男に彼女がいても関係なく、自分の彼氏の悪口を同じサークルの男に話し、その彼氏と電話された男は対立し、サークル内の空気がギクシャクする。それに困った粘着湯気女は、また別の男に電話するという例である。

実力者とくっつくことが多いらしく、トップの男の権力を使って好き放題やるらしい。
(1994年12月)



▲おとせとてりさるりフは、いはいり人だぞーだ (おとせとてりさるりフは、いはいり人だぞーだ)

最終的に、この世の女はすべて湯気で、どこまで理性的になれるかの問題だと金澤は言う。(1995年4月)



▲おとせとてりさるりフは、いはいり人だぞーだ (おとせとてりさるりフは、いはいり人だぞーだ)

男も女も実はみんな粘着湯気で、問題は「程度」だと井上は結論づけた。恋愛は一人でやるものではないので、相手の立場に立ち、自分をどこまで出すかどこまで通すかの「程度」の問題だと述べた。(1995年6月)

以上がサークルクラッシュの手引きだ。時間の都合上、具体的な実践案を提示することはできなかったが、これを参考に皆さんもサークルクラッシュを推進または予防してほしい。

具体的な事例は 29 ページからの「A さんの人狼クラッシュインタビュー」や、46 ページの「漫画で学ぶサークルクラッシュ」を参考にさせていただけると幸いである。

コミュニティスペースの衝撃

はじめに

私は2011年の9月ひっそりと京都で『アカデミックスペース「学森舎」』というコミュニティスペースを始めた。コミュニティスペースという言葉は辞書に載っている言葉では無く、明確な定義もない。しかし敢えて定義づけるとすれば、「分野や専門を超えて様々なバックグラウンドを持った人が集まる場所」と説明する事にしている。コミュニティスペースとの出会いは私の人生を大きく変えた。私は日本全国にあるコミュニティスペースを100カ所以上訪れたが、そこで出会った人達の中には「コミュニティスペースとの出会いで、大きく人生が変わった」という人が何人もいた。

コミュニティスペースを理解するうえではソーシャルメディア、シェアハウス、ゲストハウス、デモ、ノマドワーカー、等のキーワードが重要になってくる。一見関係性が無いような事象が複雑に絡み合っただけでコミュニティスペースの概念は成り立っている。コミュニティスペースの扱いは今の私たちが暮らしている社会の常識を180度変えてしまうかもしれない。

本書では2011年～2012年に私が体験した事を通じて、コミュニティスペースの衝撃について伝えたいと思う。また本書ではコミュニティスペースと社会の関係性について触れ、コミュニティスペースとは一体何なのか、今特に若者の間で、社会の水面下で何が起きているのかについて触れたい。

10年後の日本ではコミュニティスペースという概念が当たり前になっているかもしれない。この寄稿を空想的コミュニティ論と捉えるのか現実的なものとして捉えるかは読者次第である。

平成24年11月 京都にて

(コミュニティについて)

コミュニティスペースの「コミュニティ」の辞書的な意味は「同じ**地域**に居住して**利害**を共にし、**政治・経済・風俗**などにおいて深く結びついている**人々**の集まり (**社会**) のこと」である。コミュニティに関する書物は最近書店の平積みコーナーなんかでもよく見かけるようになった。近年では山崎亮氏の提唱する「コミュニティデザイン」などが注目されており、コミュニティという概念についてもかなり一般に浸透されるようになってきた。

コミュニティに関して良く言われることは以下のような趣旨の文では無いだろうか。

「最近人と人とのつながりが薄くなって来た。これからは豊かなコミュニティ作りが大切になってくる」

戦後、日本は地域コミュニティの維持を町内会等の地縁型組織が担って来た。現在、地域コミュニティの中核にいる人達の高齢化が進行しており、いかに若い世代を巻き込んで行くかという事が全国的に課題になっているのではないかと思う。この原因は日本が高齢化社会に向かっているという事だけでなく、若い世代のライフスタイルが地域活動とは馴染まないものになってきている事が挙げられる。

例えば、商店街で八百屋をやるといったような、地域密着型のライフスタイルを送っている層の多くは高齢世代である。多くの都市部に働きに出ている若い世代にとって地域は「寝に帰るだけの場所」なので、地域との繋がりには関心が無くむしろ煩わしいものと感じていることすらある。

私は今地方自治体で働いており仕事上、地域住民と接する事が多いのだが、地域に出て行った時に「一体若者はどこで人間関係を作り、何をやっているのかさっぱり分からない」という声を地域の方から聞く事が多かった。

若者の一般的なライフスタイルとして考えられるのは、結婚するまではどこかでアパートを借りて一人暮らしをするが、結婚し家庭を持つと地域とほほどどの関係を保ちながら、職場の仲間や高校や大学の時の友人との関係を保つといったケースが一番多いのではないかと思う。

しかし、私がここ数年で日本のあらゆる所で見えてきたコミュニティスペースの動きは、まだ社会全体から見ると小さい動きなのかもしれないが、今までの社会の流れとは全く異なったものを予感させるものであった。

(コミュニティスペースとは)

冒頭で述べたようにコミュニティスペースを取って定義づけるとすれば「分野や専門を超えて様々なバックグラウンドを持った人が集まる場所」である。そこに集まる人は、固い組織に属している関係ではなく、ゆるやかなネットワークでつながっている事が多い。

読者の方は一旦目をつぶって、自分の人間関係を想像してほしい。まず家族。それから高校や大学という今まで通っていた学校での友人、働いている人は職場の上司や部下の顔が思い浮かぶかもしれない。ここまではいいのだけど、それ以外の人間関係となると意外に思いつかない事に気づくだろう。そう、意外に人間関係のほとんどは、家族、学校、職場で構成されているのである。これに人によっては地域での人間関係が少し加わるぐらいだろうか。

コミュニティスペースは家族、学校、職場、地域とも少し違う、新たな人間関係を構築できる場である。コミュニティスペースを説明する具体例としては Bar や居酒屋が分かりやすい。居酒屋のカウンターに座ると、隣にいる酔っぱらったおじさんが突然喋りかけてきたという経験をお持ちの方はおられるだろう。初めて会った人同士が自然にコミュニケーションに入っていくというのは、公共空間ではなかなか見られない。私は海外旅行が好きでヨーロッパの町を一人で歩いたりするのだが、結構、広場とかで見知らぬ人が突然話しかけてくる人が多い。もちろん物を売りつけてくる、怪しい人もいるけれども。

日本では初対面の人同士がコミュニケーションを取り始めるための条件が外国より厳しいという実感を持っている人は私だけではないと思う。人と人がコミュニケーションを取り始めるためには理由が必要であり、これを日常生活で超えるのは案外難しい。また、話し始めたとしても、その後仲良くなって...となると、さらに壁を越えるのは難しくなる。

知らない人に声をかけられるというのは、犯罪に巻き込まれたり、宗教への勧誘を受けたり、物を売りつけられたりする可能性もあり、ネガティブな印象でとらえられる事が多く、リスクも確かにある。しかし、それは知らない人とコミュニケーションを取るチャンスも同時に逃している。

コミュニティスペースは、前述した居酒屋の例のように新たな人間関係を構築するための媒体として機能するのである。

(映画に見るコミュニティスペース)

コミュニティスペースの魅力の一つは、行ってみるまで何が起こるか分からない偶然性である。宮崎駿の作品「耳をすませば」では主人公の月島雫が大きな猫を追いかけて「地球屋」というアンティークショップにたどり着く。このアンティークショップの存在が天沢聖治と月島雫を結びつけるわけだが、「地球屋」には色んな人が出入りし、初めて会った人とのコミュニケーションもあり、突然演奏会が始まったり、様々な事がこの場所では起きる。この「地球屋」はまさにコミュニティスペースとして機能しているのである。人と人がコミュニケーションを取り始めるには何らかの理由が必要であるという事を前述したが、その際に空間の性質は大きな影響を与えるのである。

もう一つ映画の例を出す。「ポセイドンアドベンチャー」という映画がある。これは大型の客船が転覆し、そこにいた客が皆で力を合わせて脱出を図るという映画だが、緊急時に人が同じ空間に居合わせるとそこにはコミュニティスペースが生まれる事がこの映画から分かる。余談だが、東日本大震災の時に東京は交通機能が麻痺し一時的に混乱状態になったが、たまたまその時に居合わせた人の中にはコミュニケーションが生まれたそうだ。私は東京にいた友人に、家まで長い道を歩いて帰っていた所、たまたまやってきた軽トラックの荷台に乗せてもらい、家まで帰る方法を失った人達と荷台で仲良くなったという体験を聞いたのだが、これは非常に印象的であった。その友人は「映画のような体験をした」と言っていた。

映画は、基本的に人と人との関係からストーリーを展開していく必要があるので、その舞台となる場が必ず必要となる。コミュニティスペースを理解する上で映画は非常に参考になるのである。

(コミュニティスペースとシェアハウス)

今、若者の間でシェアハウスがブームになっている。シェアハウスとは一つの住居に何人かで共同生活をする形態のものである。

シェアハウスはここ数年、特に東日本大震災以降急速にその市場規模を拡大してきている。現在ではさらに進化した「シェアアパートメント」という形でビルが丸々一棟共同生活の場となっているケースもある。札幌のシェアハウス『BUIE 学園前』もその一つだ。オーナーの川村さんに話を聞くと昔、

美容師の専門学校だったところをシェアアパートメントとして改装したそう
だ。地下はライブハウスになっており、完全防音のスペースになっている。
ここでは一人 30000 円～50000 円ほどの価格で、5 畳ほどの個室と、共用
のリビング、キッチン等が使用出来る。一人でいたい時には一人にもなれる
し、何人かでご飯を食べたいと思った日は住人を誘ってパーティだって出来
る。



札幌シェアハウス『BUIE』の地下ライブハウス

シェアハウスは単純に安いというのも、魅力の一つではあるが、それ以上
に新たなコミュニティを構築する場として機能する事が多い。シェアハウス
には、共用のリビングがついている事が一般的であり、そこに住人が集まっ
てきて鍋をやったり、突然、酒盛りが始まったりする。

そのうち住人が友達を連れて来て、「友達の友達」という関係から職場で
も大学の知り合いでもない人間関係が広がって行き、そこから大きくなって
ホームパーティや映画上映会のような事が始まったりする。

また、最初から何らかのテーマが設定されてシェアハウスが始まる場合も
ある。

東京の「よるヒルズ」というシェアハウスは元電通の会社員が始めたシェ
アハウスだが、起業家精神溢れる若者達が集まる場所である。大企業の社員
から、ノマドワーカーと呼ばれる、会社に属さず個人で仕事を取ってくる強
者まで、様々なモチベーションの高い若者が集まってくる。「よるヒルズ」

では夜な夜な討論会などの催しが行われ、猪瀬直樹氏や田原総一郎氏など著名人も訪れる。いわゆる起業家系シェアハウスである。

一方、渋谷にある「渋谷（シブハウス）」というシェアハウスはアートパフォーマンス界隈の若者が集まったシェアハウスである。このシェアハウスは個室無しの一軒家に男女15人以上が暮らすシェアハウスで、クラブイベントなど様々なパフォーマンスが行われている。私も今年度お邪魔させてもらったのだが、地下には完全防音の地下室がありDJが朝まで音楽を流し続ける。どこからともなく20人を超える人が集まって来て、プライベートスペースが一変クラブハウスになってしまう。



渋谷（シブハウス）



TOKYO『よるヒルズ』

これらのシェアハウスというのはもはやライフスタイルの域を超えて新しいビジネスやパフォーマンスを生み出す触媒の役割を果たす可能性がある。シェアハウスを媒体にして、居住者や、訪れた人が互いにコミュニケーションを取り合い、新しいアイデアが次々と生み出されて行くのである。

これらの例を見て、手塚治虫や赤塚不二夫など歴史に名を残すような漫画家が、共同生活を営んでいた「トキワ荘」を思い出した人も居るかもしれない。「トキワ荘」もコミュニティスペースであり、そこには当時最高レベルの漫画家が多数出入りし、漫画家のコミュニティの役割を果たしていた。

共同生活はコミュニティを成立しやすくし、そこに特定のテーマで人が集まると、いわゆる『水滸伝』の梁山泊のような役割を果たし、既存の社会にインパクトをもたらすような空間が成立する場合もある。

(コミュニティスペースとソーシャルメディア)

魅力的なシェアハウスを成立させるためにはソーシャルメディアの存在が欠かせない。

近年現れ始めた **Twitter** や **Facebook** のようなソーシャルメディアには明確な定義は無いが、国境を超えた会員制のコミュニケーションツールであり、新たな双方向型のメディアでもある。これらのソーシャルメディアは冒頭で述べたコミュニティスペースの定義である「分野や専門を超えて様々なバックグラウンドを持った人が集まる場所」に当てはめることが出来る。バーチャルな空間をコミュニティスペースと呼ぶのに違和感がある方もおられるかもしれないが、ソーシャルメディアはコミュニティスペースそのものでもあり、新たなコミュニティスペースの成立を促す触媒のようなものでもある。

前述したシェアハウスにおいては、シェアメイトを募集する所から始まり、パーティやイベントを企画し「面白いシェアハウス」を成立させるには、ソーシャルメディアをフル活用する必要がある。異なるバックグラウンドの人が距離や所属の壁を超えるために **Twitter** や **Facebook** は大きな役割を果たす。まさにバーチャルなコミュニティスペースであるソーシャルメディアがリアルなコミュニティスペースであるシェアハウスを生み出すという連鎖反応が起こっていると言ってもいい。

(コミュニティスペースと社会)

Twitter や **Facebook** 等のソーシャルメディアは 2011 年の春にチュニジアやエジプトの革命を後押しする力になった。これらの革命は「**Twitter** 革命」「**Facebook** 革命」と呼ばれるほどである。また、アメリカにおいては、「**Wall Street Occupy** (ウォール街を選挙せよ)」と呼ばれるニューヨークでの格差社会に反対するデモ活動に発展したケースが記憶に新しい。デモ的な活動をもコミュニティスペースとして捉えるならば、シェアハウスの議論のところで述べた「コミュニティスペースがコミュニティスペースを生み出す」という例にこれらも当てはまらないだろうか。

ソーシャルメディアの社会への影響は海外に限られず、現在の日本にも見られる。私はここまで明かしていなかったが、アカデミックスペース「学森

舎」のオーナーでもありながら、2011年春から大阪市の職員でもある。

ご存知のように2011年11月の大阪市長選挙では大阪維新の会を率いる橋下徹氏が現職の平松邦夫氏を破って当選した。大阪維新の会がこれから勢いを増して行くのか、失速していくのか分からないが、少なくとも橋下氏の大躍進の理由の一つはTwitterの有効活用ではないかと私は考えている。特定の所属や特定の組織以外の人にメッセージを伝えるツールとしてコミュニティスペースであるTwitterの利用が非常に有効に働いたのでは無いかと私は見ている。

また、2012年の首相官邸前の脱原発デモはTwitterで呼びかけられた行動であり、これらのデモは1960年代のデモの参加者のような偏った思想色というのは薄められ、まさに大衆に開かれたものという傾向が見られる。コミュニティスペースの立ち上がりを予感させる動きである。

社会においても、情報の共有が非常にオープンなものとなる傾向にあるが、そこにはバーチャルなものであれリアルなものであれ、コミュニティスペースの動きが関連しているという事を感じられるかもしれない。

(コミュニティスペース革命)

「建てない建築家」として知られる坂口恭平氏の「独立国家の作り方」という書籍がヒットしたのは記憶に新しい。彼の事を知らない人はググってもらうなり、本を読んでもらう事に期待して、ここでは省略するが、彼は現代に生きる多くの人々が経験しているありきたりのライフスタイルに関して、様々な視点から疑問を呈している。読み進めて行くと彼の疑問と提案の先には既存の社会にとらわれない自由なコミュニティが広がっていることに気がつく。これは、まさに前段までに述べたコミュニティスペースの話題である事が分かるだろう。

コミュニティスペースは2012年現代の社会のアンダーグラウンドに広がっている新たな動きであろうかと私は思う。横の繋がりが新たな経済システムを生み出し、新たな人間関係が新たな職やライフスタイルを生み出すかもしれない。例えば、あるシェアハウスで映画会をやったと思えば、あるシェアハウスではご飯会をやって、物販をやり始めるスペースもあれば、寝泊まりできるスペースみたいなものもあったり。共有空間を渡り歩く事で、そこまで現代的な浪費生活をしなくても生活が完結できるようになる可能性だっ

である。企業や国から外れた所で（合法的な）ヤミ経済が広がって行く可能性もある。少しアナキズム的な話に聞こえるかもしれないが、ノマドワーカーなんかはまさにそういう性格があるかもしれない。

今まで強かった国と個人、企業と個人の関係のような、組織—個人間の関係性が弱められ、それに変わり「第三の場所」であるコミュニティスペースが台頭する事で、それを媒介にして新たなライフスタイルや今まで経験し得なかった人との出会い方、物語が展開して行く可能性があると思う。

現代は多くの情報が蔓延しており、情報にはほとんど価値はないといってもいい。むしろ情報を通じて得た体験が重視される。フラットになった社会では国や企業の発信する情報も、我々個人が発信する情報も同価値であり、むしろ、毎日どんな人と飯を食ったのかとか、誰と飲んだのかとかそういった体験の方が重要になってくる。「情報はシェア出来るが体験はシェア出来ない」のであって、自分の体験は自分で体験してみるしか無い。

この駄文を誰がどのような需要で読んでくれている方がいるのか全く想像もつかないが、もしこの文を読んでコミュニティスペースに関心を持った方がいれば、ぜひ『京都アカデミックスペース「学森舎」』を **twitter** や **Facebook** で検索してほしい。(Twitter は@gakusinsya) そして連絡をもらった後一度遊びに来てほしい。その頃僕はもう大阪市の職員じゃなくなっているかもしれないし、どういう形で何をしているのか分からないけどコミュニティスペースの事についてはいろいろと情報提供も出来ると思う。

少なくとも京都には 50 カ所以上のコミュニティスペースがある事を私は確認している。それを自力で探すのも楽しいと思うので、ぜひ実際自分の足でまちあるきをすることをお勧めして、まだまだ書きたい事もある中で、筆を置かせて頂きたい。

京都アカデミックスペース『学森舎』主宰 植田元気

京大にある変なサークル「サークルクラッシュ同好会」とは何か？

～森見登美彦の著書を参考に～

ホリィ・セン

正直言って自分は今のところ、『太陽の塔』(新潮文庫,2006)と『四畳半神話体系』(角川文庫,2008)しか読んでないし、森見登美彦に関して細かく論じる気はない。しかし、この2作品に共通した装置、それは「京都大学」、「サークル」、「黒髪の乙女との恋愛」だ。そして、いずれの主人公も、その斜に構えた人間性は、いかにも京大生(イカ京)である。

そう、我々京大生の多く(?)はまともに恋愛などできないのである。ロクにサークルの人間関係など保てないのである。中でも自分のような中途半端な京大生は、無頼派のようで、その実、一番他人の目を気にしている。そうして、他人に注目されたくてこんなサークルを作る。——サークルクラッシュ同好会を立ち上げた動機をここでは語るのだが、それは言ってしまうと後付けだ。全ては他人の目を気にするあまりの体裁だ。

それでは「後付け」について語ろうではないか。

①サークルクラッシャーが可愛くなくても……

視野が狭い男性達の下では、クラッシャーがあまり可愛くない(ex.顔面偏差値48)のにチャホヤされるとい現象が起こりうる事が、興味深い。

②男性達は醜い

モテない、不細工な男性達が争うということも興味深い。争う対象である女性が可愛くなければなおさらである。

③異様な集団

結果として、少数のあまり可愛くない女性が不細工な男性達によってチャホヤされ、「姫」のような立ち振る舞いをするという異様な状態になる。例えば、その女性が喋り出すと、他の男性達は皆一斉に黙り、その話に耳を傾けて相槌を打つ、といった具合である。**その異様さがたまらなく、面白い。**

つまり、サークルクラッシュという特殊な現象に対して、奇を衒ったメタ視を面白がってるだけだ。客観的に見れば、「唾棄すべき」悪趣味だ。

我ながら、サークルクラッシュ同好会は、存在そのものがフラフラしている京大生(限定用法。フラフラしていない人もたくさんいるよ。)らしさを体現しているように思う。

サークルはモラトリアムの象徴だ。

黒髪の乙女は、「大学生になったら茶髪に染めるもの」という流れ鵜呑みにするスイーツ(笑)に対するアンチテーゼの象徴だ。

森見登美彦が京大で見ていたものを知ることはできないのだが、おおよそ似たものを感じているのではないかと考えるのであった。

「露悪趣味をメタ視してる俺カッコイイ」というメタ視。マジで駄文で申し訳ない。

サークル内恋愛という共同幻想

マルクス主義フロイト理解からの接近

京大漫トロピー・隷搾会¹ ひでシス²

info@hidesys.net

はじめに

サークル内恋愛という幻想はサークルクラッシュを引き起こす上で重要である。ほとんど、重大な引き金であることは間違いない。本論考では、サークルクラッシュの起こるサークルにおいて、サークル内恋愛という共有された幻想を共同幻想として取り出し、分析する。手法には吉本隆明が共同幻想論を用いる。

共同幻想論

人間が共同の仕組みたシステムを作って、それが守られたり流布されたり、観光となったりしているところでは、どこでも共同の幻想が存在している。人間の様々な考えや、考えに基づく振る舞いや、その成果のうちで、どうしても個人に宿る心の動かし方からは理解できないことがたくさん存在している。ある場合には奇怪極まりない行動や思考になって現れ、またあるときはとても正常な考えた心の動きからは理解を絶するようなことが起こっている。しかもそれは、わたしたちを渦中に巻き込んでゆくもの大きな部分を占めている。それはただ、人間の共同の幻想が産み出したものと解するより他術がないように思われる。

マルクスの上部構造を共同幻想、フロイトのリビドーを対幻想と言い換えれば、吉本はマルクスとフロイトの補完と融合をやったのけた。共同幻想論は、フロイトのタブー論に対する批判・改定と、国家のマルクスの把握によって、原始の心性から宗教の形成、法の分離、そして国家の成立までを描く吉本隆明の国家論である。

マルクスの上部・下部構造論は社会分析としては高度だが、人間が本質的に持っている性的要素を軽視している。フロイトは人間の性衝動を鋭く分析しているが、社会領域までリビドー論を無前提に拡張しすぎている。吉本は両者がカテゴリー錯誤を犯さないように整理し、補完、融合する形で自分の共同幻想分析に利用しようとした。

共同幻想論で基本となっているモチーフは2つある。個々の人間が、共同性の場面に登場するときは、それ自体が、相対的には独立した観念の世界として扱わなければならないしまた扱われうるということ。そして、個々の人間の観念が、圧倒的に優勢な共同観念から強制的に参入

¹ 産学官奴隷搾技術普及推進学友会議

² 京大マイコンクラブ・学生団体カニバリズム山脈 所属

され混和してしまう、という、精神の現象はどう理解されるべきかということ。

問題を幻想領域として取り出すことで、文学理論、政治思想、経済学などの個々ばらばらに見えていた問題が、だいたい統一的に見えるようになった。では、どういう軸を持ってくれば全幻想領域の構造を解明する鍵をつかめるか。

- 共同幻想
国家や法
- 対幻想
家族論や男女の関係
- 自己幻想
芸術理論や文学理論、文学分野

幻想領域は以上の 3 つの軸に整理できる。これらの軸の内部構造と、表現された構造と、三つの軸の相互関係がどうなっているかを分析すればよい。なお、これらの幻想領域を扱うときは、下部構造、経済的な諸範疇というものはだいたい退けることが出来る。

共同幻想も人間がこの世界で取りうる態度が作り出した観念の形態である人間はしばしば自分の存在を圧殺するために、また圧殺されることを知りながら、どうしようもすることのできない必然に促されて様々な負担を作り出すことのできる存在である。共同幻想もまたこの種の負担の一つである。だから人間にとって共同幻想は個体の幻想と逆立する構造を持っている。そして、共同幻想のうち男性または女性としての人間が生み出す幻想をここでは特に対幻想と呼ぶことにした。なお、共同幻想という概念が成り立つのは人間の観念が作り出した世界をただ本質として対象にする場合においてのみである。

共同幻想論で吉本隆明が提出したかったのは、人間の生み出す共同幻想の様々な様態が、どのようにして総合的な視野のうちに包括されるかについての新たな方法である。

サークルという共同幻想

サークルがサークルとして成り立っている、認識されているとはどういうことか。もちろん、下部構造、経済的側面から見ると、サークルの活動スペースが確保され、運営費が何らかの方法でまかなわれている、ということである。ここでは、前述のように下部構造を捨象し、幻想領域のみについて記述する。

共同体を共同体として成り立たせるためには、成員によって共有された共同幻想が必要である。例えば、京大漫トロピーでは、サークルは漫画を読むサークルであり、漫画を読む会員はより力がある、といった幻想が共有されている。京大マイコンクラブでは、サークルはパソコンを使って何かをするサークルであり、よりコーディングのできるメンバーはより力がある、といった幻想である。

大学のサークルは基本的に非営利団体である。利害のために動く企業ではない。よって、まとまりを保つには、「利益の追求」以外での、一つの共同理念が共有されていないといけない。いやむしろ、そういった共同幻想こそが共同体を規定しているのだ。

そして、サークルの理念として取り上げられるものはたった一つである。中心点は一つのサークルに一つしか存在し得ない。2つ存在するサークルは、規模の小さいうちはサークル内サークルとして息を潜めているが、人数が十分集まると本体的に別サークルに分離するものである。このサークル内サークルの離合にはサークルの下部構造が関わってくる。幻想領域的には、そういった中心点が2つあるサークルは必ず重層化された2つである。1サークルの理念として共有できるのはたった1つだけだ。

共同幻想からみたサークルクラッシュ理解

サークルクラッシュを起こしやすいサークルのひとつの類型として、ホモソーシャル的な、女性に慣れていない男性ばかりでかつ行動において価値観を共有し切磋琢磨しているサークルという像がある。このサークルの共同幻想は、その行為による目標への邁進である。

さて、一方で男女と仲良くすることを主目的としたサークルがある。サークルは確かに友達をつくる場所であるが、そもそもの目標が、男女で仲良くすること、となっているサークル³。こういったサークルの共同幻想は、対幻想の位相をとっている。いわゆる、男女のフワフワとした雰囲気だ。

サークルクラッシュという現象は、もともと存在したサークルの共同幻想が対幻想に侵食され、男女間ではどこにでもある対幻想がサークルの柱になってしまったことによって、サークルがサークルとして集まる必要がなくなり解体する。という現象であると理解できる。

サークルクラッシュの進行

では、どうして元の共同幻想が対幻想に侵食されるのか。どのようにしてサークルの理念は骨抜きになり、男女のフワフワとした雰囲気に対する衝動がサークルの柱として成り代わってしまうのか。それは、男女のフワフワとした雰囲気を求めるキモチというものは、人間の肉体的な欲求に根ざしているものであるため、非常に強いものであるからである。

動物としての人間という認識、動物的な衝動を持っている自分という自覚は、自らを理性で律することができるのと盲目的に思い込んだ人間ほど薄いように思われる。

高学歴の人間ほどこの傾向があるように感じられる。いわゆるエリート主義的人間などだ。人間は頑張ればなんでもできる、自分を律することだってできる。こういった思い込みは、リビドーに対する注意を散漫なものにするし、そしてリビドーに突き動かされる自分というものを

³ 果実の名前がついたテニスサークルなどが挙げられる

認めることができずに状況の認識を遅らせ、取り返しの付かない段階まで事態を進行させる。特に、元来ホモソーシャル的な雰囲気を持ったサークルだと、より事態は深刻だ。切磋琢磨するということが求められた環境において、恋愛事にうつつを抜かず・男女のフワフワした雰囲気を求めるといった心の動きは、それこそ他メンバーに伝え難い。また、そのような環境において、見かけ上人を出し抜くことも可能になる。彼は切磋琢磨しているだろう、彼は恋愛事には興味がないだろう、その内にサークル内で自分だけが物事を進展させてしまおう。

こういった情報の非共有は、対処するための知識の導入を遠ざけ、サークル自体の維持に対する知恵の創出を抑制する。表面上恋愛事がサークル内に存在しないように見える、が、サークル内では確実に男女のフワフワした雰囲気が広がり、そして意識上であれ無意識下であれ男女のフワフワした雰囲気を求めるキモチが触発されて増大する。しかし、それは語られない。男女のフワフワした雰囲気の広がりとそれを求めるキモチの伝播はなかったことにされる。男女のフワフワした雰囲気というのはたしかに心地よくうまくコントロールできれば問題とならずむしろ有用なのだが、彼らはその存在に目を向けないことによって、人間の肉体的な欲求に根ざした獐狂な幻想を放置することになる。そして、サークルをサークルとして規定していた、サークルのまとまりを作っていた共同幻想の対幻想からの侵食をみすみすみ逃すことになる。

表面化しない問題はより深刻な問題なのである。問題として認識されない問題にどうやって対処のしようがあるか、いやない。

おわりに

本論考ではサークルクラッシュという現象の共同幻想論的理解を記述した。サークルクラッシュは幻想領域ではどのように進行するのか、が理解されただろう。以降のサークルクラッシュ研究に寄与が出来れば幸いである。

あなたのサークルは大丈夫だろうか。男女のフワフワした雰囲気を求めるキモチに目を背けていないだろうか。サークルクラッシュは経験として人間を成長させるかもしれないが、活動の場が失われるのは寂しいものだ。この論考が、広がりつつあるサークルクラッシュの告発と防止になればと想う。

あとがき

わかりやすくするために基本的にヘテロ恋愛を想定しました。が、ホモソーシャル的な共同体での同性愛はまた面白く、別の論考で取り上げるのも良いかもしれません。

この原稿が遅れたせいで製本作業がおくれました。反省し、ここにお詫びします。

参考文献

吉本隆明, 1982, 『共同幻想論』, 角川書店.

A さんの人狼クラッシュインタビュー

interview,text:ホリイ・セン

実際にサークルクラッシュまがいのことを体験した A さん。その相手(以下 B さん)との失恋についてはまるでもう吹っ切ったかのように、「ビッチについて語るか」と、軽快に語り始めた。

A: でもビッチではないんやろうなあ。自覚のあるビッチと自覚のないビッチがあるけど、自覚のないビッチの方が……。N¹みたいなんは、自覚あるやんか。自覚ある方がまだいいと思う。自覚のない方は「好きになっちゃったんだからしょうがないじゃん」みたいなノリやと思う。いやいやいやいやいや、ってなるから。

・馴れ初め

A: 人狼ってゲーム²で、ネットで知り合って、その頃から(B は)ある男プレイヤーに猛烈にアプローチをかけててんか。ネット上でな。俺いつ会ったとかあんま知らんねんけど、なんか付き合ったらしいねん。そのときは顔も知らんくて。「まあ、付き合ったんや」と思ってた。

人狼ってゲームは毎日ずっと一緒におるから、コミュニティみたいな感じで仲良くなる。Skype³とか繋いで部屋ができるやん。部活みたいなな、まさにサークルみたいな感じになって。毎日オンして、人狼するときはして、ダベるときはダベってみたい。まさにサークル、人狼サークルみたいな感じ。

そうしたら、「オフしよか」って俺が企画したんやけど。で、オフで初めて会ったんよ。そのときはだから、あっちは彼氏おったんよ普通に。で、まあ～可愛かったな、やっぱり。ってか俺はまず一つサークルクラッシャーの絶対条件として、可愛いことやと。可愛いことは、最低限って言うのにも高条件やけど、絶対要ると思う。他も女の人来とったけど、ドム⁴・ドム・ドム・可愛い、みたいな感じやったから(笑)

いっそう際立ってる感じで。で、そのときはまあ普通にちょっと喋って可愛いなどは俺は思ってたけど、彼氏おんの知とったし、彼氏も来とったし。で、彼氏は高校生やからそのとき、高3。B は 21 か 22 歳かぐらい。大学 3 回 4 回生ぐらい。2 年前やから、俺が 23 か 24 ぐらい。まあ童貞やったけど。あとあと聞いたら「年下が好き」って言うとったわ。それはよく分からんけど。

で、まあそんなときは普通に会って、遊んで、終わって。で、なんやろな? それからちよくちよくなんか、俺に個チャ⁵がとんでくるようになってきたねん。それはまあ人狼関係の話やねんけど、俺が入ってない村があって、B の方は入ってって、「この村入ってるんですけど、どうしたらいいかな」みたいな感じで。……彼氏おんねんで? まあ俺も男で

¹ N: ホリイ・センと A さんの共通の知人。「自覚のあるビッチ」という感じの人。本インタビューで何度か登場する。

² 人狼: プレイヤーがそれぞれが村人と村人に化けた人狼となり、自分自身の正体がばれないように他のプレイヤーと交渉して正体を探るゲーム。ゲームは半日単位で進行し、昼には全プレイヤーの投票により決まった人狼容疑者の処刑が、夜には人狼による村人の捕食が行われる。全ての人狼を処刑することが出来れば村人チームの勝ち、人狼と同じ数まで村人を減らすことが出来れば人狼チームの勝ちとなる。

³ Skype: インターネット電話サービス。複数の人間が音声通話やチャットをすることが可能。

⁴ ドム: 機動戦士ガンダムシリーズに出てくるモビルスーツ。転じて、太っている人への蔑称。

⁵ 個チャ: 個人チャットの略。1:1でのチャット。

すし、可愛いのが分かってるから、意気揚々と相談に乗るやんそれは。まあ付き合うのは無理やろなど。童貞の草食系が、彼氏おる女の子取ろうなんて気は全く起こらず、まあまあ喋ってるだけで楽しいなど。可愛い子と喋ってるだけでええなど。

で、なんか一回大阪のオフがあっせん。俺らが初めて会ったんは個人規模のオフで、公式でもないねんけど人狼で7、80人いるオフがあんねんか。そうしたら、(Bが)「大阪に来る」って言い出して。彼氏は受験生やから結構忙しくて。彼氏の方は来なくて、女の子は来るって言って、「前乗りするから、誰か遊べる人いません」みたいな感じで。

多分そこに悪気とかはないと思うねん。これもものちのち聞いたけど、そのとき俺には気はなかったらしいねん。でもお前、俺にめっちゃ個チャしてたやんみたいな。なんか、個チャしてる内に、人狼関係から二人で遊ぼうかみたいな、ネット上でオセロとかhangameとかして遊んでるときあっせんか二人で。付き合っていないねんで？ 彼氏おんねんで？ 今考えたら俺がその彼氏やったら「おいおいおいおい」ってなるわ。

で、俺暇やし、大阪やし、「行けるよ」って言って。もう一人俺の友達おって、そいつも行けるってなっせんけど、遅れるみたいな感じになって。「あいつ来られへんみたいやから」、「じゃあ二人でいいです」みたいな感じになって。「え、いいんすか」みたいな感じで(笑) 嬉しいやん、そういうの。

二人で四条あたりブラブラして。飯食って。そこらへんから友達も来たんやけど。まあ4人ぐらいで。そのときはまだ(彼氏とは)付き合ってたなあ。それもまあ大阪のでっかいオフが終わって。そっからもうちょいちょい……なんか分からんけど、本人言ってたけど、無意識下で気合ったんちゃう？ 彼氏がいるからアカンっていう、恋人おって異性と二人っきりで会うって、結構俺らやったら……もし例えば、彼女がおって、女の子と二人っきりで会うってなったら後ろめたいとかストッパーかかるやん。全くないねんそういうのホンマに。完全にないねん。で、まあその後もぼちぼち個チャしつつ、なんかだんだん俺は惹かれていくわけや(笑)

・人狼にて

A: あれだから、あいつら、サークラどもは魔力みたいなん持ってんねん。まあでも、それはまあさっき言ってたサークルみたいな、Skypeサークルの方もちょいちょいしつつ、個チャもしてて、村一緒のところで、同村するときがあっせん。……俺めっちゃ一回、ここは人狼のルールから言うと、簡単に言ったらすごいカッコイイことしたんやけど、俺とその子が狼同士で、すごい狼が不利な状況になったねん、とりあえずな。簡単に言ったらそこから覆したんやけど、狼3人、仲間おんねんけど仲間全部殺されていって、俺だけ残って、村人も十何人おる中から、グワーッって他のやつ殺していって、最後勝って。なんかそれが最終的には決め手やったみたいで。だからまあ、ゲーム強かったらモテるかもしれんな。分からんけど(笑)

ホリィ: 人狼みたいなゲームだったらなおさらですね。

A: カッコイイよな、確かにな。ネトゲで倒しててもそれお前金かけただけやん、時間かけただけやんみたいな感じになる。あれ結構ホンマ完全に実力主義やから。そこあたりから(Bは)フラッときてて、で、また次の村入って俺が男キャラで、違う女キャラがおって。多分中身も女の人やったと思うねんけど、可愛かったからイチャイチャしててんやんか。ネット上でな。人狼って掲示板で文字でやる感じやから、桃 RP(ロールプレイン

グ)って言って。

イチャイチャしてて、そんなときはもう急やったわ……メールがきたんかな。酔ってたんか知らんけど、なんか「今、わたしうわーってなってる」みたいな感じできて。え？ってなって。なんでやろなみたいな感じになって。まあ気付いてる通り、嫉妬やってんけど。「～さんとAさんが、イチャイチャしてんのが見てて、すごい嫌な気分になって」みたいな感じできて……**彼氏おんで！ まだ彼氏おんで！ 彼氏おるから、大事やでこれ。別れてないからな。**「え？」ってなるやん。これって、え、そういうこと？って思ってたけど、童貞めっちゃ慎重深いから。「どういうこと？」ってなって。「いや、もう分かりません」みたいな感じになって。で、まあ「それは俺を尊敬するプレイヤーやから、思ってくれてるんかな？」みたいな。そこでなんか『俺のこと好きなん？』みたいに言ったら、もし違ったら怖いやんか。恥ずかしいやんか。童貞心理で。

で、「いや、違います」——おいおいおい、これきたんちゃう？とか思って。「えっと、はっきり言います。好きなんだと思います」みたいな感じで。いやいや、ちょっと待ってと。それでまあ彼氏おらんかったらね。いやでもおるやん、ってなって。

ああでも、そんなときは俺も我慢できんと言ってもうてん。言うて結構親密になってたから。会ったんは2回だけやけど、オフでは。「じゃあ俺も言うけど、好きやよ」みたいなこと言って。「本当ですか？」、「いやいや、本当本当」、「何それ、私が好きって言ったから好きって言うてるんじゃないですか」、「いやいや違う違う。ホンマに前から言ってて」——リア友で人狼一緒にやってる奴おったんやけど——「あいつにも言ってたことあるし、もし信用できひんのやったらそいつに聞いてくれたらいいよ」みたいな感じで。俺そのBのこと結構、ええわーって思ってるけどな——みたいな感じで言ってたことあってんやんか。

で、まあそこは、嬉しいけど、どうしよう？ってなって。「分かった。でも今付き合ってるよね？」って言って。だからそれで「今俺を選んでくれたら嬉しいよ」みたいなことを言って。今考えたらな、めっちゃ悪いことしたな。相手の男に。あれ逆(の立場)やったらホンマ……多分な、もし俺とその彼氏が例えば大学の人とかで、無関係やったとして、俺がいるってこと彼氏が知らんかったら、俺と付き合いつつ、彼氏とも付き合ってたと思う。俺が彼氏おるっていう事実を知っちゃってるから。だから、向こうもさすがにそこはダメやと思ってるらしくて、二股っていうのは。いや、二股っていうの自体はいいと思ってる、二股が相手にバレるのはアカンって思ってるねんな多分。男みたいな考えなんやろな。俺も結構理解できひんけど、「どっちも好きなんだよ」みたいな。「でも、多分Aさんの方が好きです」、「じゃあ、彼氏に言ってくれる？」って。

すると即日、次の日に言うとして。彼氏とも俺メールアドレス交換してんねんけど、即メールきて、はじめは「Bのこと幸せにしてやってください」みたいなんがきて、(なんやこいつ、めんどくさ)とか思いながら。俺も「謝るの変やけど、ゴメン」みたいな感じになって。**まあもうここでクラッシュしてるわな。完全にクラッシュするよな。まず絶対もう気まずいよな。**

・Bの元彼

A: それなんも考えてへんねんな。俺のこと好きになっちゃったから、多分、その後先考えへんのやと思う。ここのコミュニティがどうなっちゃうとか、二人の間がどうなっちゃうとか、悪気がないから。悪気があるんやったらストッパーかかると思う。悪気なかったと思うけどな、1年間一緒におったけど。

そっから1ヶ月ぐらい彼氏とメールして。ちょいちょい情緒不安定になって向こうも。「やっぱり許せないです」みたいな感じできて。いや、せやけど、俺、ちゃんとやるからみたいなこと言って、ずっと下手(したて)に下手に出て。で、そうなったらさ、メール普通さ、向こうから「連絡は取らないよ」って、今はもう乗り換えた、っていうのは変やけど「あなた(A)と付き合うことにしたから、向こうと連絡取らない、縁を切るワ」って。なるもんちゃうかな〜普通。それも俺がしこたま言ってん。その男の気持ちは正直分かる。ちょいちょいメール送っててん。電話とかもしててん。その時は俺その男ウザいなあって思ってたけど、今考えたらしゃーないわ。あんな急にやられたら……急やったんか、そのとき不仲やったんか知らんけど、それに対して女の子の方がね。こいつやる全部？ こいつが乗り換えたんやろ？ じゃあ責任持って「あなたと連絡したらどっちもしんどいし、新しい人にも悪いし……」って——**ならんねん!** なんでならんのやるなあ。

最悪な、最悪言いつつ内緒でやれよ。やるんやったらな、こっちに申し訳ないと思うんやったら、「あっちとはもう連絡取ってないワ」って言って。(元彼には)「一応返すけど、もうメール送ってこないで」みたいな感じで内緒でやってんのやったらええけど、「メール、くるの〜」みたいな感じになって。「それはごめん、俺が言っとくから。返さんとして全部」って。男は男で「分かりました」って最終的にはなって。めっちゃしんどかった。1ヶ月ぐらい。覚えてるわ、夏休みやったわ。これはこれでしんどかったけど、「ただメール送ることだけは許してください」みたいな。「いいけど、向こうには返さんように言うで」って。で、まあゴタゴタしてる内に切れて。やっとなんか受験失敗して浪人しよってん。人狼とかやってられんくなってもうて、消えていったわ。今もおらんわ。多分、もしここ(Bと元彼)が付き合ってたたら一緒に仲良くやってたかもしれんけどな。まあこれで一人死んだな。

・Bの性格

A: で、俺と仲良くやってて……まあなあ、あと一個、これは分らんけど、サークルクラッシャーの素質その2として、エロいと思う。いや分らんけど！俺も何人かと付き合ってた分かんねんけど、友達と話してたりしたら、エロい方やと思う、ホンマに。……その後いろいろあって、二人で夜の公園で喋ってて、十三⁶の夜の公園やねんけど、ちょっと俺もいろいろ我慢できんくなって、「キスしていい？」みたいなことになって、俺の予想ではチュッってやる程度やと思ってたんやんか。そしたら、めっちゃ舌入れてきたんやんか。(え、ちょっと待ってちょっと待ってちょっと待って、うそお!? ここまでしてくれんの?)みたいな感じになって。いやまあそれはいいねんけど、ずっとオンでやってたから、「いよいよ会えるね」ってなったときあったんや、その時。実質3回目のオフや。

……まあ舌入れてきてくれて、男としては嬉しいけど。どうなんやろな？ まあでも付き合ってるからいいんかな？ 分らんけど、それはいいとして、その日の晩に童貞喪失して。早かった。俺、できると思ってなかったん。でもなんか、俺ん家来てんやんか、実家に。大阪来たから、泊まるとこないから。別々の布団で寝ててんけど、あ、それはいろいろ言ってん。「ホテルが取れない」って言って。「ホテルが全然満室だ」ってなったから。漫喫泊まらせんのもアレやなって。「もしそっちがしんどくなければ、俺の家来

⁶ 十三：大阪の地名。

る？ おとんとかおかんおるけど。」言ってる、そしたらなんか「え、いいの？」ってなって。いいんだ一ってなって。まあこれは余談やからええわ。

で、まあ別の布団で寝てたら(Bの方が)「そっち行っていい？」みたいな感じになって。エエエってなって。なんかもう一緒に寝てたら「もう、これもう無理や」ってなって。まあ「やっていい？」みたいな感じになったら、承諾を得て。踏み込むなあ。ホンマだから、「肉食系」って最近の使われてる言葉やけど、それやと思う。

……あとなんか、チンコ触んの好きやねんか。これ別にサークラかどうかわらんけど(笑)なんか事あるごとにチンコ触ってくんねんか。そこで言わんでもいいこと言うねんけど「これ私好きなんだ。こんなこと言ったらアレだけ、今まで(の彼氏のもの)もずっと触ってたんだ」みたいなこと言って。「これクセなんだ」みたいな感じで。ホンマ言わんでええやん！（ええー、なんやねんそれ）ってなるやん。

と、まあ基本的に……セックスはやらしてくれた方なんちゃう。毎日、一緒におれるときは全部、全部でもないけどやってたから。なんか結構……男が喜ぶこと分かってるよな。無意識下で。

ホリィ：前に付き合ってた人とかめっちゃ多いんじゃないすか？

A：えっと、俺が5人目かな。そうそう、それもあると思う。ただ、計算じゃないと思うねん。計算じゃなくて分かってるからタチが悪い。まあそっから結構仲良かったよ、普通に。ただまあなんか、常識知らんときあったけどな。

一個一番面白かったんは——面白くもないねんけど——ちょっとケンカなってるときあって、「俺はBの喜ぶことをしたくて、結局喜んでくれたら嬉しいから、そういう動機で動くんやで」みたいなこと言って、そしたらあちは「え、いやその発想はなかった」みたいな感じになって。B「私はあなたと一緒に遊ぶと楽しい、"私が"楽しい。それは私があなただけを好きだから」——ちょっとちゃうやろ？俺が喜ぶとか、俺が楽しいからとかはどうでもええねん、ぶっちゃけ。相手のことはええねん。B「私が楽しい、それはあなたが好きだからだよ？」っていう。うーん、でもちょっとなあ。

ホリィ：素直に、「自分本位だ」って言ってますねえ。

A：そうそうそうそう、ワガママやねん。だから、俺が女の子の手料理、「彼女の手料理」ってものをずっと食いたくて。俺は別に初めての彼女だってことも童貞だってことも言ってたから、手料理とか食いたいたってなったら、普通さあ、作ってくれへん？一回もないから！あ、一回、一回あんねんけど、俺がバイトかなんか行って帰ってきたら、カレー作ってんやんか。「なんや、作ってんの」ってなって。「これ、私がすごいカレー食わたくて」って言って。……で、これな。照れ隠しじゃないねん絶対。これな、「べ、別にあんたのために作ったんじゃないんだからねっ」っていうんじゃないねん！**ホンマにあいつはカレーを食いたかってん。**別に俺がずっと食いたいたって言ってたから作ってくれたわけじゃなくて、自分がカレー食いたかったから作っただけやねん。それは付き合ってたら分かんねんもう。「ま、まあそれでも嬉しいよ。作ってくれてありがとう」みたいな感じになったけど！「いや、これ私が食べたかったんだよカレー」ってなって。（あ、これマジやなってな）って。

A：だから、好きになっちゃったからしょうがないんやろうな、彼女たちの中では。「だ

って、私あの人とイチャイチャしたいもん」ってなっちゃったら、今彼氏がおるとか関係なく。

あと、男好きやなやっぱり。その後 Skype いろいろやってたんやけど、個チャを飛ばすときあんねんけど、俺がネットで聞きたいなって思ったら男のやつ、同性に聞かん？ 基本的になんか、(Bは)男に飛ばすねんか。それ別にあの子でもええやん。女の人のプレイヤーはいるし、あっちでもええやんってなるのに、いちいち男に飛ばすねん。無意識やと思うねんけど、男好き。

ホリィ：付き合ってる男がいなくてかだつたらまだ分かりますけど、いる状態でねえ。……えっと、どれくらい(Bのいる)東京に行ってたんですか？

A：長期休みは全部行ってたな。あと土日だけとか。通常営業では月2ぐらい。あとまあゴールデンウィークとか、申し訳ないけど NF 中も行ってたし。あとちょっとした休みがあったら。向こうから来ることもあったよ、でも向こう一応仕事しとったから。来るときは土日何回か来てくれたときあった。俺がほとんど行っとなあ。

あとなあなかなあ、俺ん家来たら、俺のおかんと、B、俺っておって、テレビがついてるねんか。そしたら、なんか俺のおかさんは気い使って喋るねんか。息子の彼女やから。「どうしてんの？ 仕事とかどんなんなん？」みたいに。でも、テレビがちょっと面白いテレビやってたら、**スーッとそっちに目行ってんねんか。喋ってんねんで？ 喋ってる途中でスーッと目が行ってんねんか。彼氏のおかんやで？** それもだから、今こっちが面白いから。別に、「彼氏のおかんウザい」とかさこっちの方がまだええわ。敵対意識を持ってやるんやったらまだ分かるけど、ただただ「**今こっちの話面白くない、そっちの話面白い**」から、**そっち見る。**

これをしたことによって自分の評価がどうなるかってことを全く考えてない。だからわりかし損はするかもな。男には困らんけど、社会的に損すると思う。仕事でも「怒られた」ってよく言ってる、へこんで帰ってくるんやけど。怒られて、めっちゃムスツとしてるらしいねんか。時には言い返したりするらしいねんか。でもアホやんそれ！「すいませんでした、すいませんでした。私が悪かったです」みたいな感じええのに。そんなムスツとしてたら向こうもどンドンイラついて、それどうせグルグルグル負の連鎖になるで。って何回も注意したことあるけど、「あなたに言っても分かんないし」みたいな感じになる。……せやけどさ、俺は社会人じゃないけどさ。

自分の感情表現がめっちゃ豊かやな。多分、これはホンマに悪意のないサークラのタイプちゃうかなあ。分からんけど。そやなあ、あと、アホやな。とりあえず、**生でヤらしまくってくれた(笑)** これなあ、あとあと友達に聞いたら、何人か女と付き合ったことある奴に聞いても、「いや俺、生一回もしたことないで」みたいな。なんか、「いいじゃん」みたいになってくるねんか。ちちくり合ってるどっちも興奮してきたら、そのまま入れようとすねんか、自分から。「え、ちょっと待ってちょっと待って」って言って。「大丈夫、外に出せば大丈夫だから」とか言って。いや、俺それ知ってんねん、外に出しても意味ないこと知ってんねん正直。でもなんか、こっちももう……流されて、やって結局大丈夫やってんけど、ずっと。ずっと大丈夫やったから、初めの方怖かったけど、結構大丈夫で、俺ももうええわ、ってなってきて。モロ危険日とか結構生でやって。大丈夫やねんけど、なんか知らんけど。運やな。

ホリィ：運なんですかね？ 前に5人も付き合ってたんだったら……

A：中絶？ いや、それはでもさすがにしていなと思う。嘘ついて、いや嘘つくかなあさすがに、そういうところは。いやでも、中絶してたらさすがにそれ怖くならへん？

ホリィ：もしくは、これまで生でやってきて全然妊娠してこなかったんで、運っていうか体質的なものかもしれないし。人によって妊娠しやすい人としにくい人もいますから。

A：「大丈夫、だって今まで大丈夫だもん」って言われたら萎えんのやけど。(今までもやってたんだ、生で) みたいな感じで。まあ良かったわホンマに、妊娠してたらどうなったか知らんけど今。

で、なんか生理中って中出ししても大丈夫やねんか。俺めっちゃ調べたけど。これちょっと抵抗してたけど、「いやホンマ大丈夫やから」って。俺中出しがしたくてたまらんくて(笑) 「これ言ったらいけんちゃうん？」って。ネットとか見て「めっちゃ調べたけど、ほらここにも書いてるけど、ホンマに大丈夫やから」って。「え、本当に～？ じゃあいいよ」ってなって。それも、どうやろう。それは女の子によるかもしれないけど、結構多分それはダメだって言う女の子は多いと思うねん。だから、性についてもアホやな。

ホリィ：いやでもそうですね。周りの友達とか聞いても、普通に避妊ぐらいはしてますよ。

A：俺もなんか生でやっても大丈夫なんだ、とか思って(笑) あとあと聞いたらそれ絶対ヤバかったでみたいなこと言われんねんけど。いやもう、アレはアホやったな。

・Bの浮気

——ここまで軽快に語ってくれたAさんの顔にも影が落ち始めた。

A：最後は浮気か。まあほぼほぼ(自分と)同じパターンや。東京のでっかい人狼のオフがあって、そこで出会ったらいいねん。それは俺は東京やって、行かれへんかって。そのときに、Skype交換して、個チャして、家呼んで。そうそう、俺はSkypeのログも全部見てもうてるねんけど、向こうも「Bさんって、彼氏いるんでしょ」みたいに聞かれとって。「うふふ」って3文字で返しとったわ。うふふってなんやねんお前。そこらへんはなんか、最低限の常識はあるんかもしれないけど、「今彼氏おる」って言ったら、この人今ちょっといいなあって思ってるのがイチャイチャできなくなっちゃうじゃーん。だからやめよ、言わんとこ)ってだけやんな。

で、いろいろバレた後いろいろ話しててんけど、これ一個びっくりしたんは、家呼んで、結局酔った勢いでやったらしいんやけど、「そこまでする気はなかった」みたいな。「家に呼ぶ時点でアカンやろ！ 異性を自分の家に呼ぶ時点で、それはもうOKサインだから」、「その発想はなかった」って。また！ 「だって、それは別に全然いいと思う」、「いやいやいやいや、それはあなたがおかしいよ」って。二人きりや。女の家と呼んでんねん。「それはほんとに目からウロコだわー」みたいな雰囲気やったわ。「それは私、全然いいと思うんだけど」みたいな。ホンマなんかぶっ壊れてるとこあんな。

あと、同性の友達少ない。高校時代の仲良い子1人おるって言って。その子だけやねん。

高校時代。さっきも言ってたけど、ネットでも男に行くからな。いつも「大学のときの友達が」って話がくるときあんねんけど、まあ聞いてたら男やねん、それ全部。だから、異性が好きなんやろな、ホンマに。でもまあ、男好きって言ったら簡単やけど、男好きを更に掘り下げていったらどういう部分になるかって言ったらまあそういうことやろ。だから、自分から男に行くねん。男は可愛いもんやから、男もホイホイ来るやん。行くに決まってるやん。

ああちなみになんか、告白して振られたことないらしい。強いよな。だからはじめ言ったけど、可愛いのは絶対条件。ブサイクのサークラなんておんのかな？ 無理やと思うねんけど。だって、男ももう足切り、切ってもうたら恋愛感情芽生えへんやん。

ホリィ：可愛い方がもちろんやりやすいですよ。ブサイクまでいっちゃうともう無理でしょうけど。よっぽど男選ばないと無理ですね。

A：サークラそんなんしとったら、時間ないから。次々行かなあかんから（笑）

ホリィ：そういう男ばかりのところに行くとかですな多分。

A：あー、その趣味趣向一緒で、非モテ系。非モテやったらまあ女ってだけでくるんやったら……それでもどうかな、さすがに非モテでもブサイクは無理やろ。

ホリィ：だから、普通ぐらいですかね。普通ぐらいて言ってもいろんなパターンあるっていうか。童貞好みの容姿みたいなんあるじゃないすか。

A：あー。あいつ童貞何人食ってんのやろな。高校生多分童貞やろうから、初体験高1やからな、それも童貞やろ。で、俺やろ。3人食われてる。童貞狩りや（笑）

まあまあ浮気バレてからそのままやな。予想通りって感じや。無理やなーって。ただなあ、魔力あるな。俺なんか一瞬、悪魔のささやきみたいに（より戻したいな）とか思ってしまうときあんねんか。（……いやいや、アカンアカンアカン）っていつもホンマ思うねんけど、たまにホンマに。可愛い……これは難しい、抽象的やねんけど、男が可愛いなって思う仕草とか、肉体的な絡みとかをあれはどこで会得してんねやろ。生まれながらなんかなあ？ 育ってきた環境なんかなあ？ 育ってきたとこ田舎やからなあ。

ホリィ：なんか、感情表現豊かなのはみんな好きですよな。

A：あー、そうかもな。それはあるかもしれんな。素直やから、良い意味でも悪い意味でも。どっちかと言うと悪い意味の方がでかいけど。ホンマに素直やから。楽しかったら楽しい、そっち行くし。嫌だったらもう嫌だと。

あ、もう一個は、付き合い始めた頃に曲、音楽あるやん。勧めて「俺、こういうの聴いてほしいな、聴かへん？」みたいな感じになったら、そんなときにぼっさり言われたんが、

「私は趣味とか音楽とかは人に勧められるの嫌いなんだよね」って。（えーっ！？）って。いや、そのどうでもいい友達とかから勧められてそう思うんやったらええけど、（僕、彼氏なんですけど）とか思いながら（笑） 僕あなたの恋人なんですけどとか思って、「私そういうのは嫌だから、私も勧めないし、勧められてもやらない」って言われて。「お、おう」ってなって。とりあえずやってみたらええやんとか思ってんけど、付き合い始め

た頃やったし、ちょっと首かしげたわそのとき。(え? 寂しいなあ) ってるよね。だから、ホンマ自分の好きな方向に行きよんねん。

ホリィ：大体聞きたいこと聞いた感じしますね。その人と付き合う前の、Aさんの恋愛経験とかなかったんすか？

A：いやだからだってもう、超草食童貞やから(笑) 童貞ってこじらせるとヤバいで。あんな、ここまで、22ぐらい? 22年間耐えてんから、俺は可愛い子じゃなきゃやだみたいな感じになって。自分で言うのもいやらしいんやけど、アプローチかけてくれる子はおってん、なんか。いい感じやなって。言ったらいけるなみたいなんはあるやん。これはもう向こうは好意来てる、こっちは言ったら付き合えるってなったときは、2、3回あってん。でも、俺は……(こんな奴に俺の童貞はあげられへん) って(笑) この守りに守った童貞をあげられへん、みたいな。アホや。今考えたらホンマにアホや。あんときもう普通に付き合ってたときや良かった。いろいろ知ったときや良かった! だからゴメン。分からんねんホンマに。ホンマに分からん。

ホリィ：分かんないっていうのも大きいんじゃないすかね。そういうの分かんないからこそ、冷静に見れないときがあるじゃないすか。初めてだったら冷静に見れないじゃないすか。

A：あ、それBのこと言ってる? そうやなあ。なるべくなるべく客観的には見てたけどな。彼女としてじゃなくて人として見てたことあったけどな。こいつが友達やっただとして、変やなあって思うことはあったよホンマに。まあ、恋人だから……まあ相談した相談した普通に。女の子の友達とかにも聞いたことあるけど、みんな結構、健気やで女の子って。普通に料理作って待ってるとか。

ホリィ：だから、(Bは)健気じゃなかったんですね(笑)

A：ああ、だからこれが女の子全般じゃないんだなどは、人聞きやけどそうは思ったよ。だってさ、もう常識的に考えてさ、知らんけど、友達同士でさ。友達で料理作ってほしって気持ち悪いけど、なんかしてほしいってなったらさ、別に無償で「ええよ」ってなるやん! それはめんどくさいことやったとしても、「ええよ」って。……それが、なんかない。

言うて、彼女じゃなくても友達でも、喜んでくれたら嬉しいやん。めんどくさいけど、あなたが、友達が、喜ぶからっていうその二段構えの発想がないねん。私はめんどくさい、嫌、それで終わり。私はしんどいから嫌。だからそこについて……俺は嫌やなって思ったときはあったけど、それでも付き合ってた、嫌いになれへんかった。これなんでやるな。

ホリィ：それはまあ、可愛かったら……。

A：そうやろなあ。可愛かったらしょうがないなあ。可愛いってのはルックスもあるけど、そこはだから、裏表になってるけど、素直やから感情表現出すから、それがプラスに与

えて可愛いなって思うときもあるやん。

ホリィ：だから、悪い面も素直やって思ってしまったら良い面に見えますよね。

A：そうそう、あばたもえくぼみたいな感じで。女性経験多い男が付き合ったらどう思うんか分かんけど、まあ初手はコロンといくわ。そこから見えてきて、見えてくんねんけどなんか許してしまう。そのの付き合ってから上手いんやと思うけど……エロいってのはでかいんじゃない。分かんけど。

ホリィ：セフレとかいるんすかねえ？

A：いや、いないない。それは多分さすがにいない。だから、「痴女」ではないよね。なんて言うんやろ、だからそこらへんは、「私モテてる、へへーん」っていうNみたいな発想はないんよ。B「私そんな、モテないよ」ってそれは分かんかったけど。そこらへんの驕りとかはあんまなくて……セフレ作るまでは、うーん。付き合ったときはギューって距離縮めてくるから。ギューってなるやん。こんだけ接着剤あったら大丈夫だろうって思っても、まあ気が多いわけじゃないんやろうけど、ポンって現れたら、あつという間にそっちに。分かんない、セフレがおる女ってのはなんやろな。アレのタイプはよく分かんわ。だから二股が悪いとかいう常識はあるみたい。二股をしてる私カッコイイとかいう気分はないっぽい。

ホリィ：セフレって多分作ろうと思ったら、器用な人でないと無理なんじゃないすかね。

A：そやね。器用ではないから。全然器用ではないから。サクッとバレたから、俺のときの浮気も。無邪気やな。いや、これはだから。悪意のないサークラパターンやと思うわ。悪意のあるサークラパターン俺分かんわ。悪意のある方はそれはそれで何がしたいんかよく分かんけどな。それはだから多分プライド？「モテてる私すごいでしょ」っていう虚栄心みたいな。

ホリィ：Nみたいなのを突き詰めたらそうなるんじゃないすか。

A：余談になるけどさ、Nがさ、LINEでさ。「最近もうホントにすごいへこんでる、でも頑張ろうと思う」みたいなこと書いてて。そしたら男がソッコー、レスしとって。「大丈夫？俺でよかったら全然相談に乗るよ」みたいなこと言とって。なんやそれ、気持ち悪とか思いながら。で、それ見て（うふ、うふふ）ってなってるんやろな。多分あいう系は。そやなあ、女性経験はどうも言えへんなあ。まあもう、崩壊つすわ今。見事に崩壊してる。昔居た人狼サークルみたいなんは、向こうから出て行ったけどそれはさすがに。その連中とあまりつるんでないし。

ホリィ：前言ってましたね。浮気してんの分かったのに、人狼村行ったら居ってという。

——辛い表情を浮かべるAさん。

A：そうそうそう、それな。俺はもう「人狼やめてくれへんか」って。「俺がやめんのも意味分からへんし、俺は人狼っていうゲーム自体好きやからやりたいけど、**あなたの名前を見ると嫌な気分になるから**」、「分かった」って言って、直後に普通におって。いやいやいや。折電、電話かけてんけど、出えへんねん。絶対でも分かってて出てない。だってパソコンの前におるの分かってんもん。電話かけてんめっちゃ。キレて。そしたら「電話しないで」って。「いやいや、お前調子乗んなよ」みたいな。それもう、それもだから言ったときに、はじめだから「人狼やめてくれん？」って言ったら「それはちょっとまた別の話だと思おう」みたいなこと言ってきて。「いやいや、別の話じゃないじゃん。別の話じゃないでしょ？」って。「さっき言った理論もっかい言おか？ **俺はやりたい。で、あなたがいると俺は嫌な気分になる。で、非があるのはあなたでしょ？ じゃあやるのはあなたじゃないですか？**」、「私は人狼はやりたいから」って。もう別れた彼氏に対してもかもしれんけど、そこはなんか人としてさあ、ケジメつけろよって。最終的に分かった話やねんけど、これ別にサークラの話じゃなくなってきたる、俺の愚痴やねんけど。ちょっと俺、試験中やって前期の試験中ぐらいに(Bの浮気)が発覚して。「試験やから、試験終わってから結論出すわ。俺が無理やと思ったら無理って言うし、またやり直そうって思ったらやり直そうって言うわ」って。で、試験終わっていろいろ考えた挙句やっぱり無理ってなって。「無理だ」って言ってんけど。そしたらメソメソ泣きながらゴネる……フリやったんかなあ。フリではなかったんかなあ。ゴネてたんか知らんけど、最終的には「分かった」ってなって終わってんけど。フタ開けたら俺が試験中、その浮気相手とメールしとってん。ってか会っててん確か。で、すごい相談しててん。いやいやいや。結局なんやろな。

ホリィ：常に男いないとダメな状態なんですかねえ。

あー、それはあるかもなあ。なんやろなあ。そら彼女は欲しいし、女の方は彼氏も欲しいとは思うよ？ そういう気持ちは絶対、みんなあると思うけど、人一倍……。分からんのかなあ。今さあ、しっかり付き合ってる恋人がおってさ。新しいのってさ、フラツツていく？ まあでもそれが俗に言う浮気か。そうか、でもあるか。

ホリィ：いくにしてもなんかねえ。罪悪感がありますよねえ。

A：罪悪感あったんかなあ？ ああでも聞いたことあるわ。「俺の顔とか思い浮かばなかったん？ そいつと飲んでるとき」、「思い浮かんだよ」とか言ってたけど、そんなん知らんし。言ってるだけかもしれない。そのとき多分ずっと「たのしー」と思ってやってたんや。

・Aさんのその後

ホリィ：最近是人狼はどうなんすか？ やってんすか？

A：やってるよ。あのーオフをまたやろうかと思って。懲りてないなあ俺も（笑）結構違うメンツで仲良くなってきて。オフをまた俺が企画してやろうとしてて。こないだたまたまなあ。ある一人の、女性のプレイヤーの方がなんか愛媛の人やねんけど、大阪に遊びに来てるってなって。誰か会える人いない？ みたいな感じになって。「俺、別にい

るけど？」みたいな感じになって（笑）友達と別れて、夜の9時から深夜バスの時間まで暇なんだよみたいな感じになって。「ほな、会う？」みたいな感じで。俺も結構ねえ、出て行けるようになったよ。その部分はクソビッチに感謝やけど。こういうのはどんどん行ったっていかなあかなみたいな感じで。

で、会ってんけど……も一、カバがおった。カバが。バナナマン日村みたいな女がおって。（うああああああああ！！）ってなって。Skype チャットとか大部屋でやっててんけど、声はな、可愛いお姉ちゃん系みたいな感じやったんやけど。そしたらバナナマン日村がおって。もう、梅田で会ってんけど、二人きりで。9時から12時までどうしようって思って。可愛かったらなんか俺もやる気出して話そうかってなるけど。BLの話されて。別にその話自体嫌いじゃないから聞いててんけど。「ふん、ふん」って言いながら。んじやまあ、ちょっとアレやし ROUND1 行こかって言ってんけど、これ間違いで。言っちゃ悪いけど、二人で隣歩いてるだけで恥ずかしいねん！ そのレベルやねんホンマに。「これ俺、彼女じゃないですこの人は！」って感じやねん。バナナマン日村やからなホンマに。足ふっと！って。恥ずかしいわ。

・ネット恋愛

まあ今回はサークラヤからネット恋愛っていうのはちょっとアレやけど、ネットで可愛い子はおらんあ。人狼大規模オフは俺も結構行ってんねんけど、女の人結構おんねんやんか。もうブサイクばかり。なんでか分からんけど、なんでブサイク固まってまうんやろな。多分、俺が思うに、モテへんから、ネットの世界行く。モテてたらまさに「リア充」ってのになってるやろうから。しゃーない。だからまああんな、Bみたいなのはレアやと思うけど。よく分からん子やったけど。——あれゲームがめっちゃ好きやったわ。ほなやっぱ男ウケするやん。ゲーム好きで、一緒にゲームやってくれるとか男嬉しいやん。むしろ「やろう」なんて言ってきてくれたら「おうおう」ってやるやん。

ホリィ：やっぱネット恋愛だと、可愛くない人がくるか、可愛かったら性格に難アリってことなんですかね。可愛くて性格もまともだったら……まあよっぽどなんかゲーム好きとかじゃないと。

A：ゲーム好きにならんからな！ ならんねん。キャピルンしてるから。なんかこじれて、可愛い子がゲーム好きとかになったら、たまにおんねん。掘り出し物が。ちょっと俺もねえ、12月行ってこようかなと思ってるんでねえ（笑）何人か女性はいると思うんやけど、みんなカバかもしれん。

ホリィ：なんか知ってる人で、mixi で出会い厨してる人とかいるんですけど。

A：mixi はちょっと違うと思う。mixi はゲームちゃうもん。MMORPG とか人狼とか、そういうのはヤバイ。mixi は普通の。N も言ってたわ。「どうやって女の子と出会うんすか」って結構最近に聞いてんけど、「mixi とかいいんじゃないですかー。mixi のオフとか結構かわいい子来ますよー」みたいな。だから、mixi とか、ただの SNS、Facebook とかは。

・サークルにおける人間関係

ホリィ：それでその A さん B さん以外の人間関係ってどうになりました？

A：まあとりあえず、一回目俺が告白されたときは、浪人生やったんもあるけど、元彼が消えただけやったな。ただ、あのさすがになんかそこはよく分からん気持ちがあったんか知らんけど、おおやけにしないようにしようみたいな感じになって。そのメンツには。まあ何人かには言って知ってたけど。あんまりその大部屋で言うみたいな感じのことはしてなかった。それはめんどくさかったな。

ただまあ、そのときは男が消えただけやったな。で、今俺から向こういったときは結構めんどくさくて、俺元々結構仲良いメンツがおって、B も俺もおって、ここに俺がおらんときの東京のオフに入ってきた男やねん。で、この人たちとは俺が一切絡まなくなった。嫌だから、正直。で、俺はまた違うコミュニティで仲良くしてるけど。元々一番初めのところは、そっちは B も抜けてるし、悲しいけどもう結構閑散としてるんちゃう。これがもう一個だけのただのサークルっていうコミュニティやったらどうなるんかなあ。人狼はちょっと、なんやろ。学部恋愛みたいなもんかな。まあだから、サークルがいっぱいあって。全部同じことやってるサークルなんやけどなあ。分からんけど、どっちかが消えると思う。初めのところから言ったら俺が消えた形になってるわ。

いややっぱ無理や。無理無理無理。そんなん、一緒におんの。ただ、こっちでもこっちでも、周りは別にそんな。ネットやからってのもあるかもしれんけど。当人同士が消えていく形やねん。女がおって、一人やって二人やったらここが消えるか、またもしこう言ったら多分ここが消える。周りにおんのは別に影響はないと思う。当人同士が。

ホリィ：サークルとかだったら、サークルクラッシュのよくあるパターンとしては、「会長」と付き合っていたり。それで会長がいなくなったりとかしたら、運営できなくなるじゃないですか。

A：そやなあ。会長とかおらんからなあウチらは別に。ウチらは目的があるわけじゃないから。ホンマただのレクリエーションサークルやから。あ、でも今考えたら女抜けてないな。二対一は分が悪いからなあ。あっち二でこっち一やろ。俺は嫌や、やりたくないやん。

どうなんのやろな、会長とかやったら。辞めんちゃう会長。そういうとこ精神的に男の方が弱いからなあ。女はなんか居座る方が多いと思う。ましてやサークラみたいな奴やったら。男の方がもう嫌やと思うで。多分抜けると思うで。いやー、無理やで。

あんなあ、めっちゃ客観的に見て、浮気相手は悪くないと思うねん。彼氏いるかどうか分からんで、個チャもいっぱいしてて……俺も元々その立場やったもん！分かるもん。彼氏おってもそんな気分になってたから。で、家呼んでくれて。家一対一で呼んでくれたらこれもう行けますやんってなるやん。

だから、俺は基本的には悪くないと思うけど、もちろんその男に対しては、おぞましい感情は抱くから。それはしゃーないと思う。個人の感情として。これがもし面と向かって会うようなサークルっていう場やったら、耐えられへん。無理やと思うホンマに。逃げると思う。

・サークルクラッシュが起こる場

ホリィ：元々サークルクラッシュって TRPG の界限で起こってたらしくて。

A：あれ女の子好きやからな。それは別に人狼と一緒にじゃね？ 役職がいるわけでもなく。多分、すごいよくやってるプレイヤーやったらコミュニティ何個か持ってるやろし、多分そのコミュニティから抜けていくと思うわ。

ホリィ：コミュニティがでやすいっていう。

A：違う人でな。ベン図みたいな感じでどこにも属してるみたいになれるから。だからわりかしサークルもしやすいのかもしれないな。

ホリィ：ロールプレイ系っていうかそういうゲーム、あと演劇とかもそうですかね。そういう系ってそういう女が集まりやすいイメージがあるんですけど。すごい、コミュニケーションに飢えてるみたいな。

A：あるかもな。せやなあ、演劇は分からんけど、いかんせん TRPG もさっきの人狼と一緒に、ブサイクばかりやと思うんよ。言っちゃ悪いけど。そこに可愛い子がポンって来ちゃったら……まあ男の比率は多いから、中にはイケメンも何人かおるやろ。まあそのイケメンも草食系やろうから。コミュニケーションか……まあだから、やっぱり女の免疫のない男の趣味、そういうところに来て……いや彼女らはもし普通の社会にいたら、普通の恋愛をしてるんかもしれないけど。女に免疫がないところに降臨するから、すごい食ってるように見えてしまって。入れ食い状態になってしまって。ハタから見たらサークルクラッシュしてるように見えてしまうんかもしれない。それはあるかもしれない。

ホリィ：普通の社会だったら、普通に振られたりとか普通にあってって感じですかねえ。

A：なあ、告白して振られたことないらしいで。結構珍しい条件が揃っとかなアカンと思うけどな。ヲタ的な趣味である。可愛い。男が好き。これってまあ、可愛いは置いといて、ゲーム好きと男が好きって結構共存しなさそうやけどなあ。たまにそういうなんか、突然変異が起こると発生するんかもしれない。

ホリィ：そうなんですよね。だから、たまたま身近に A さんみたいな例があって。すごいなっていう。

A：まあレアやから、世間っていうかホリィみたいな人らの目に止まって、「うおー」ってなるんかもしれない。あ、もう行かなあかんわ。

ホリィ：いえいえ、すごくよく分かりました。本当にありがとうございました。

僕は Factory Kyoto (以下、工場) というオルタナティブスペースを運営している。来る人の目的によって変わる場所で、ある人にとってはギャラリー、ある人にとっては演劇会場であり、ある人にとってはただの溜まり場となる。ようは、よく分からない場所で、説明しようと思えば説明出来るのだが、説明してしまうとその本質が変わってしまう気がする。その工場について色々話して行こうと思う。

オルタナティブスペースと言っても様々な解釈がある。何ならオルタナティブスペースという言葉自体あまりピンと来ない人も多いのではないだろうか。検索にかけてみたところ、オルタナティブスペースとは下記の通りである。「多目的空間。読んで字のごとく、美術作品専用の空間である美術館や画廊と異なり、必ずしも狭義の美術には当てはまらない作品発表や活動が可能な展示スペースのこと。」

とある。なるほど、一般的には美術用語として使われている用語のようだが、僕個人は美術用語として使っては行かない。僕がオルタナティブスペースという単語を使う場合、それは思想的な話だが、オルタナティブスペースはコミュニケーションを根底にした衣食住を共有出来る場所だと考えている。そうなってくると殆ど実家や自宅となんら変わらないのだが、そことの差異として自主独立運営といったものが出てくる。ようは、親のものでも僕のものでも無いのだ。そこに集う人間でその場のルールや環境が変化する場所である。勿論、そこにはトラブルや運営の問題(ようは金)もあるからキレイ事だけでは成り立たない。ある種の秩序やルール、時には権力も必要になってくるのだ。何事も自由放埒でやれると思っているほど僕は若くないので、皆さんが一番気になるであろう。金とそこで巻き起こるトラブルについて細かく話そう。

まず、運営についてだけれど、僕達が運営する工場は毎月光熱費、家賃合わせて15万円かかっている。僕達は企業体、営利団体として活動していない。メンバーが現時点で8人いるのだが、各メンバーが月1万円ずつ支払い、工場に住んでいる人間は月3万円を支払っている。現在、居候合わせて3人住んでいるので計算すると毎月1万円赤字なのだ。けれど、何故運営出来ているかというと、工場では展示や演劇公演などで使える貸しスペースも兼ねており、6日間レンタルしてもらおうと35000円のレンタル料をいただく、後は

遊びに来た人にカンパして貰ったりしていただくといった具合で赤字を調整して行くのだ。もちろん、それでも赤字が出ることの方が多い。そういった場合のためにイベントで立て続けに使ってもらった時の資金をプールしている。この金の部分をなかなかスペース運営している人は公にしない。したがらないのか、聞いていないからかもしれないが、別にそんな大した額を貰ったりしていないだろうからオープンにして差支えがあるとも思えないのだが、まあ基本的に僕達は進んで運営面についてオープンにしている。なんなら毎月行われている会議も公開しているので、気になる人は是非来ていただいて大丈夫。

金の次に気になるところは人間関係だろう。基本的に金銭での繋がりではない人間関係で成り立っているというのは一般的に宗教だとか、反社会勢力などが後ろ盾になっているのではないかと危惧する方が多いと思われるが、心配無用である。僕自身はかなりの反社会的人間であるし、反体制的、極左極右的、このところは新興宗教のような言説を語ることが多いが特定のセクトや団体に属している訳ではない。何故金銭や物質、教義がなくコミュニティーが形成出来ているのか僕も少し疑問に思うときや疑心を感じる時もあるのだけれども、言ってしまうと義理人情の成せる業、また金銭的利害で一致していないからこそある意味で緩い連帯感に繋がっているのは間違いない。使命感と言っても、金銭の関係性というのは言ってしまうとそれがなくなった時に崩れ去る可能性が高い。しかし、金銭が絡んで無さ過ぎるのも問題ではあるのだが、現状カンパ以外でメンバー以上に工場へ来ている人間も金銭は支払わせていない。今後も支払わせる気は毛頭ない。何故なら違う視点で見ると、金銭で毎月いくらかと払わせてしまうと最大値が決まってしまうし、毎日のように来ている人間は広報的観点、そして差し入れという物質、彼らから繋がる情報やネットワークの恩恵は計り知れない。人的資源を重視しているのだ。少々きれい事には過ぎるが現在はこの観点で僕は物事を考えている。微々たる金銭よりも、先の大金こそを夢見たい。

しかし、どれだけ企業的組織でない、ある種アナーキーな組織であってもルールは必要になってくる。そのルールを明確には決めていないが、例えばドラッグは合法、非合法問わず工場内での使用は禁止。あとは、なるべく場所をキレイにするようにみんなが心がけている。住人にも家事の分担などのルールはない。けれど、最低限守るべきは各自のモラルや裁量に任せている。なのでよくあるシェアハウスや溜まり場よりもキレイな場所だとは思ってい

る。僕はキレイ好きなのだ。

そして一番気になるところは女関係だろう。サークル、コミュニティーが壊れたりもめるのはいつも男女関係だ。ここで予め言うておくが、オルタナティブスペースをやっていたら間違いなくモテる。工場にとんでもない醜男がいるのだけど、優しささえあればメンヘラ女にはモテる。大体オルタナティブスペースはメンヘラや不良品の巣窟であって、寂しいから集まっているのだから、優しい人間は女が寄ってくる。そう考えれば揉める事もないのかもしれないが、問題は欲望の強さだ。口説きまくればなんとでもなるだろう。運動神経も容姿も優れないならオルタナティブスペースをやる事をおススメする。

そういう副次的要素以外に何故金にも何にもならない事をしているのか、少し真面目な話をさせていただく、人との繋がりを求め連帯感を目指し、個人主義礼賛の次を目指している。それを可能にしたのはインターネットだ。そして、その中でも SNS の登場は革命的だった。工場も SNS が無ければ生まれていなかった。そこから同志もいっぱい見つけて孤独ではなくなった。そして SNS 以後として僕は五感を通じたコミュニケーションを目指した。何の綱領も無く、何のしがらみも無い。経済からも自らスポイルする事も可能だ。この時代で面白いのはニートと革命家である。前者は世捨て人的隠遁を選び社会と対抗していて、後者は破壊を望んでいる。それだけの違いであって両者共に次を見ているであろう事は間違いない。現時点でネットを前提としたリアルな場での五感を使ったコミュニケーションに分がある。けれども、技術がもっと進歩して架空世界においてもそれが達成された時にオルタナティブスペースは終焉を迎えるだろう。所詮僕達は打倒される対象になるべく起っている。百聞は一見にしかず。これを読むであろう君達は関西圏の人であろうから是非 **factory kyoto** に遊びに来て欲しい。twitter は **dazaist69** でやっているのでみんなフォローミー。

漫画で学ぶサークルクラッシュ

ホリィ・セン

誰が決めたのかは分からないが、三大サークルクラッシュ漫画とも言える3作品がある。今回はサークルクラッシュという観点から、それらを軽くレビューする。どれもよくできた作品なので、興味を持った方は是非読んでみてほしい。年は最終巻が出た年。

『サユリ 1号』(村上かつら,2003)

舞台となるサークル：大学の海洋冒険同好会、ウィンタースポーツ愛好会

サークルクラッシャー：

大橋ユキ



故意クラッシャー。ミス・キャンパスに選ばれるほど可愛いという設定

サークルクラッシュの経過：

主人公が所属しているのは海洋冒険同好会だが、その前にウィンタースポーツ同好会で「サークル荒らし」を行っていた。さらに前では他のサークルでも行っていたとか。ウィンタースポーツ同好会では“ほんとうにもう「よくぞこの6人が集まった!!」っていうくらい意気投合してこのメンバーは誰が欠けてもあかん、奇跡の6人やと思っていた。”という同じ学年の6人に対し、1人1人密室で関係を持っていた。見事にサークルクラッシュするのだが、そのときの男同士の争いは圧巻。海洋冒険同好会では主人公と関係を持つも、主人公とヒロインである児玉知子との関係性に圧倒され、クラッシュを失敗する。知子はユキを“あの子は絶対「人間ギライ」なんかじゃないよ。むしろ……………誰よりも、ディープなコミュニケーションをとろうとしてあがいている……………絶対。”と評しており、故意クラッシャーの行動原理にせまる、生々しい記述が見られた。

『ヨイコノミライ』（きづきあきら,2006）

舞台となるサークル：高校の漫画研究会

サークルクラッシャー：

青木杏(あおき あんず)



故意クラッシャー

サークルクラッシュの経過：

主人公が属している漫画研究会はユルい繋がり、目的のない集団。杏の直接的な恋愛関係は主人公とのものだけであるが、友情の関係や依存の関係を、嫉妬させたり、好意を別の方向に向け変えたりした。「創作をしたいけれども実際はしていない人間が繋がりに依存している状態にあるのを、自立させる」という意味で人間関係を切ったので、特定の個人によっては良い結果をもたらしたサークルクラッシュかもしれない。

『ヤサシイワタシ』(ひぐちアサ,2002)

舞台となるサークル：大学の写真サークル

サークルクラッシャー：

唐須弥恵(からす やえ)



自己本位的な天然クラッシャー

サークルクラッシュの経過：

弥恵は極度のファザーコンプレックスであり、自らを管理・支配してくれる存在としての父親の代わりを求め、恋愛を繰り返す。中でもサークル内の先輩・新城への執着は主人公と恋人関係にあったときも隠さなかった。最終的には当人同士の間人間関係が壊れたぐらいで、サークルクラッシュとしては失敗ではないだろうか。主人公にはそれなりのトラウマを残したと思われるが、冷静だった。

メンバーとしての主観的な立場からここがどんなグループかを描写してみたい。

1.概要と規模

宗教法人幸福の科学には学生部というグループがあり、全国に展開されている。京都学生部は三条のビルの一部屋を拠点としている。集まるメンバーは多くて30人。週1ペースで出入りするのが十数名で、中心的に運営を行っているのが5~6人である。

2.層と性格の多様性

まずメンバーの層だが、てんでバラバラである。同志社生、京大生に京都府立大生から高校生まで。勉強内容も、趣味や関心、しゃべり方や普段学校でつるんでいる人間の種類も多様。

宗教ではあるが、学問や科学、経営など合理的なものを勉強している人が多い。「知識を学ぶこと」も教義に入っているからだ。また英語への熱は比較的高い。普段大学では勉強熱心な普通の学生と見られることが多いようである。概して読書家が多い。中には仏教文化やキリスト教文化、神道などに関心を持っていたりもする。またメキシコ人メンバーなど地味に多国籍化する傾向もある。

普段はそんなに来れないが、仕事をしていたり、サークル運営をしていたり、国家試験など資格取得に精を出すメンバーも多い。個人経営をしているメンバーもいる。

「お互いに理解しあい、尊敬しあうこと、愛し合うこと」が重要であり、教義そのものである。従って、各自はそれを実践することに努力している。内省的タイプも外交的で口が立つタイプも、優しくて好かれやすいタイプが多い所以だ。

非常に居心地がよく、心から家族のように感じているメンバーが多い。

3.教義という軸

あまりにも多様なメンバーをつなげているのが「信仰・教え」である。それは「人は誰に創られたか」「人は今なんのために生きているのか」「人や社会はどうあるべきなのか」という価値観の根の部分である。

4.活動とマネジメント

その中で特に熱心な活動家は、ドラッカーのマネジメント論などに基づいて活動を展開しつつ、メンバー向けの勉強会や戦略会議、また非会員向けのイベント企画や、友人への声かけを行っている。今後、さらにクリエイティブで多角的な活動展開を志向し、様々なプロジェクト創造や学生団体との連携などが進められている。

基本的にノルマなどは無い。モチベーションは「この心の教えが絶対に人を幸せにする」という内的動機である。

5.深い会話と楽しい会話

会話内容は自分の悩みやを解決した過程を共有したり、将来の夢を語り合うことが多い。「どのようにすればイライラしないか」、「どうすればやる気が出るか」、「将来の夢の探し方」、「人間関係の改善方法や悩みの克服方法」など、深くて充実した会話がグループ内では交わされている。

ただ、会話の半分は学生らしいジャレ合いや世間話であり、ユーモアセンスに優れたメンバーが多い。宗教的な瞑想や祈りを行う時間以外は、通常の学生と同じくかなりうるさく、特に飲み会後は他のサークルと引けを取らないほど「元気」であることもある。

6.メンバー達のジレンマ

初めて入って来られた方がまず戸惑うのは、このコミュニティの中で最も大切だとされる「信仰心」という言葉である。

「信仰心が大事だ」ということを理解した学生がコミュニティーに入ってくるわけだが、

そうは言っても世間的な常識や学問的、合理的な視点とのジレンマに苦しむことが多い。

「科学で証明出来ないものを人に語る難しさ」に悩んだり、世間的な宗教偏見により友達に距離を取られて落ち込むこともある。

また、「本音で信仰を強調する逃げない布教活動」か「普通の人でも理解できる話からする合理的な布教活動」かなどの選択に悩むこともある。

ただ、最終的には「頭脳や科学」で知りうることは限られており、「美しさ」を証明や定義付けや根拠なく「美しい」と言えるように「心や感性」で「これは正しい」というものをこそ大事にしたいと皆思っている。

(もちろん合理性も、合理性の限界を理解した上で重要視される。)

感性と信仰心が強いタイプの人には合理性や理論性に自信が無く、逆に合理的なタイプの人には感性や信仰心に課題を感じている。

時にそれが内部での不理解を生むこともあるが、基本的にはお互いがお互いを尊敬して、必要としている。

来たばかりのメンバーTは「神や仏がいるかは自分にはわからないけど、信仰しているメンバーの熱意を信じたい」と語る。

またあるメンバーHは「ここで勉強するようになって長いけど、自分は理系だからどうしても合理的な考えに閉じ込められちゃうところがある。でも、人間は本能で神仏を知っていると最近思う。」と語る。

一方メンバーCは「学校教育やマスコミの影響を自分自身受けているから、世間が時に偏見で見たり、科学の色々な仮説を通して解釈をするのはよく理解できる。でもそれは、僕らがもっとありのままの自分達をアピールする力が無いからだ。」と課題を語る。

7. このコミュニティの求心力

立場や趣味が近いために集まったコミュニティではない。従って非常に個性豊かで、他

のコミュニティでは絶対会えないタイプ同士で集まっている。さらには、布教という積極的な活動もあり、時には騒然とした仕事現場のような雰囲気にもなる。それでもメンバーはここを一番居心地の良い場所と捉えている。

それは「人は皆神仏の子なのだから、お互いの個性や、自分とは違う意見を持った相手の中からも素晴らしいものを見出して、愛し合うことが、自分の幸福に繋がり、社会の幸福につながる」という思想こそが求心力となっているからである。

また、どうしても理解できない人間や憎い人間をも愛するためには「相手を同じ神の子、仏の子と見る」ことが必要であるため、この「愛」と「信仰」は限りなく近い概念として理解されている。

8. 拡大する「思想空間」=「幸せな空間」としてのコミュニティ

布教活動によりこの考えを社会に浸透させることで、この「幸せな空間」を拡大させていくことがこのコミュニティの本質・理念である。

その拡大の先に、民族対立や宗教対立の解消や、信仰を人間の尊厳の根拠とすることで、唯物論・無神論であり人権の裏付けの無い共産主義国家の民主化などを本気で考えている。

学校帰りに立ち寄るこのコミュニティでは、そんな夢を本気で語り合える仲間がいる。



サークルクラッシュ同好会は会員を募集しています。興味のある方はお気軽にご連絡ください。また、協力者も募集しています。特定の集団において人間関係のトラブルに悩まされた経験のある方、サークルクラッシュを実際に経験されたことのある方、見たことのある方は、ぜひインタビューさせていただきたいのでご一報ください。

2012年11月22日発行

編集者：ホリィ・セン

発行者：ホリィ・セン

印刷：大阪コピー

HP：<http://circlecrash.jimdo.com/>

twitter：[@circlecrush](https://twitter.com/circlecrush)

メールアドレス：circlecrush@gmail.com

Published by Circle Crash Lovers Association